

テートの決断

18禁

艦娘の一番長い日
(後編)

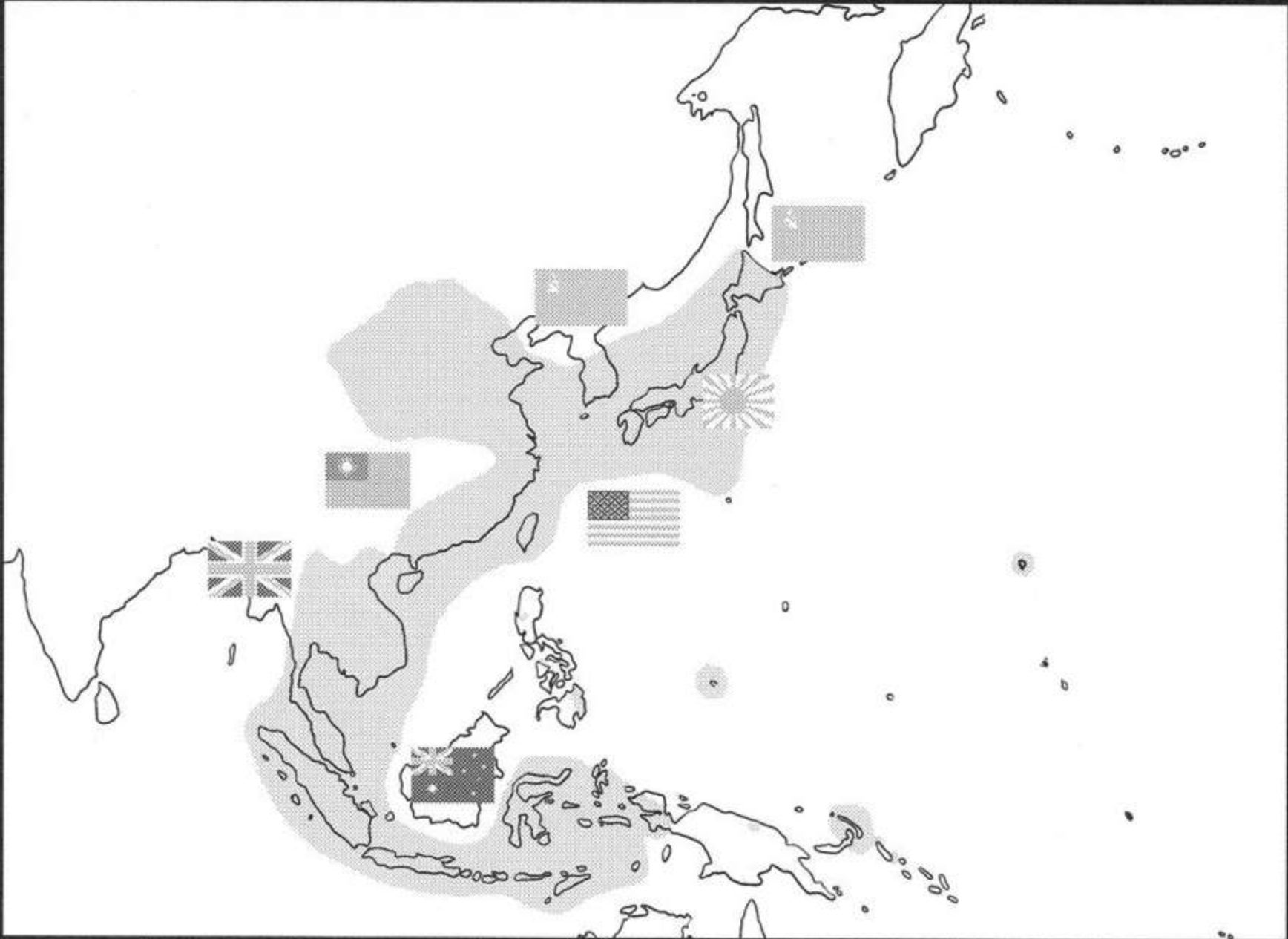
艦娘太平洋戦争 完結

蛸壺屋



テートクの決断
艦娘の一番長い日(後編)

日本が最後まで保持した領土



45年3月末
広島湾 呉軍港

何かさ

あつという間
じゃなかった？

良かったのは
ごく最初だけで

ふと気付くともう
勝ち目はなくなつてて

後はズルズルと
呉まで押し込まれて…

燃料が無くなつちや
艦娘もどうしようも
ないしな！

間宮さんも
フイリピン輸送で
沈められて

もう
あの羊羹は
食べられないね…

雪風 何してる
今日の訓練は
終わっただろ

うん
時間もあるし
普段できないところ
整備でもしようと思つて

……浜風
私達もやるか

こ…この後
やろうと思つてたの！

カキヤ
カキヤ



17 駆は

ふふ…



最高の
駆逐隊



もちろん！



おっ

ガチャ

ドサ



単に
生き残りの
寄せ集めだしな

朝霜

そうは言っても
私たち最近一緒
になったばかり…

初霜

霞

ちよつと！
『21駆逐隊』も
負けてられないわよ！



豊田連合艦隊
司令長官

この重大時に
瀬戸内海で遊んでいては
陛下に申し訳が立たず
国民からの批判も受けよう

水上部隊は
どうする

鎮守府の防空隊と訓練機も
合わせればまだ2千機ある！
全航空戦力を注ぎ込む！

機動部隊を叩く
最後のチャンスだ

本土決戦は陸軍の管轄だ
沖繩が事実上海軍
最後の戦いになる

回天部隊も
出撃準備

軍令部の三上作戦部長は
何とか『大和』を含む艦隊を
役立てる作戦をひねり出した



3月20日 『大一号作戦』は発令された

当初は天号作戦に
消極的だった海軍だが、
米軍が台湾や先島諸島を
飛ばし一気に沖繩に
来たことで俄然決戦に
前向きになった

これは
本島の飛行場を奪われ
敵空軍が進出するまで
沖繩周辺から米空母部隊が
動けないことを意味していた

沖繩

宮古島
石垣島

台湾

米戦闘機の航続距離

戦前の日本侵攻戦略『オレンジ計画』では常に先島諸島上陸が第一歩とされていたため大本営は32軍の反対を押切って1個師団を割いていた

山下兵団は本格的抵抗に入り北部ルソン島の飛行場を抑えていた

ルソン島

それは『第2艦隊』を佐世保に置き
東シナ海を遊ばせて

第1機動基地航空部隊
(3, 5, 10航空艦隊)



東シナ海

沖繩 58任務部隊

米機動部隊を引きつけて
天号作戦の航空戦力で
撃滅するという作戦だった

しかし肝心の現場である
基地航空隊宇垣纏長官は
相変わらず自軍の都合で
立てられた虫のいい作戦を
批判した



今さらこんな小手先の技が
成功すると思うなど笑止千万!

海空連携の陽動攻撃は
ビアクでもレイテでも
上手く行かなかった

さらに燃料の問題もあったが
ともあれ
佐世保に居るだけでも
陽動効果があるとしても
出発が命じられた



大和さん
少ないですが
私達の分の燃料です
使ってください

よいしょ



ありがとう
助かるわ



3月28日 『大和』と『水戦』は
哨戒部隊『31戦隊』を伴って呉を出発し
機雷で封鎖されている関門海峡を避け



潜水艦作戦も開始され『第6艦隊』は3月28日から
回天4隊と哨戒隊『呂46』『呂50』『呂109』の
合計11隻を次々と沖繩へ向かわせた

- 多々良隊 『伊44』『伊47』『伊56』『伊58』
- 天武隊 『伊47』『伊36』
- 振武隊 『伊367』
- 轟隊 『伊361』『伊363』

『甲潜水部隊』に
引続き機動部隊
を監視します

『呂46、50、109』

しかし
回天の運用の困難さに加えて
もはや米艦隊の対潜哨戒に
付け入るスキはなく6月末までに
『伊44』『伊56』『呂46』『呂109』が撃沈された

沖繩の潜水艦戦は戦果ゼロで終わった

発進した25基の『回天』は
何にも命中すること無く
自爆するか深海へ消えていった

同じ28、29日米軍は
機動部隊が北上し
九州南部の航空基地
を攻撃した

明後日の上陸前に
キューシューの
飛行場を叩いて
おけ!



『第2艦隊』は行く手を阻まれ
さらにルメイのB29が来襲し
広島湾に機雷をバラまいたため
呉にも戻れなくなった



三方向全て
塞がれて
しまいました

立ち往生しているうちに
2水戦の『響』が機雷に触れて
損傷し呉に修理に戻った



一人で
戻れるから
護衛はいい

湾内の機雷に
気をつけてな

仕方ありません
佐世保行きは
一旦中断し徳山で
待機します

呉から佐世保に
行くだけで
命がけだね

困になんか
ならなくても
向うから来たぞ



慶良間諸島

飛行場のない慶良間には
特攻艇『マルシ』300隻の
挺身戦隊のみが配置されていた



米軍の砲爆撃で部隊は住民と山へ退避し
続いて上陸が始まると32軍司令部には
決別電報が相次いだ

誰も出撃
しなかったのか？
美しく死にさえすれば
美しいと思ってる！

意思が弱くて
任務をやり通そうという
頑張りが足りない



32軍高級参謀
八原博道大佐

この時『軍官民一体』の建前が
沖縄最初の悲劇を引き起こした

軍の方針に忠実な役人や指導者に
率いられた集団は降伏を潔しとせず
自決を追い込まれた

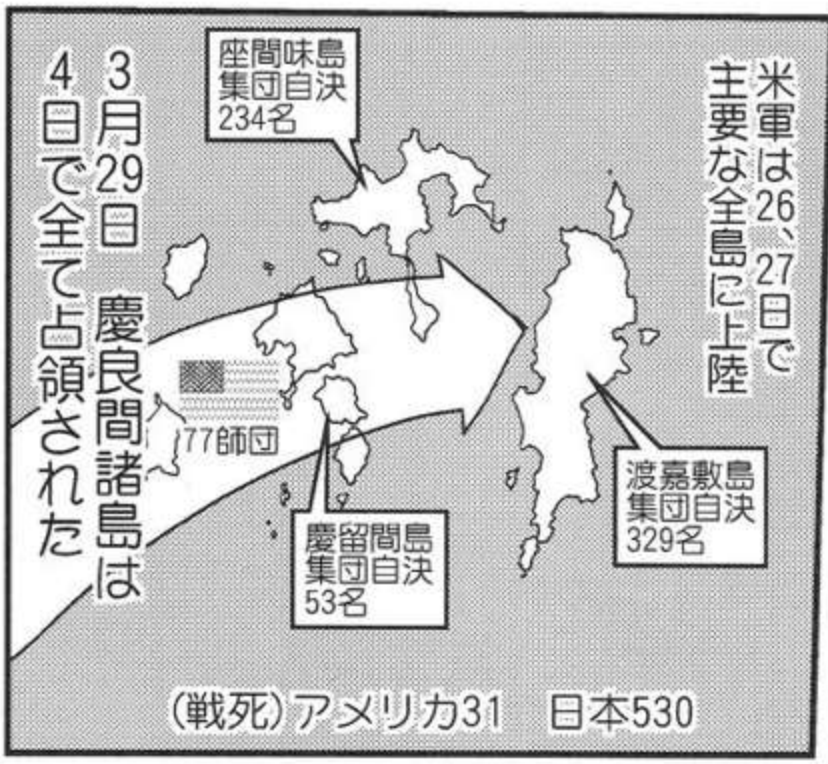
皆さん
残忍な米兵が迫ってます
日本人として恥ずかしく
ない最期を迎えましょう

アメリカに対する知識や滞在経験を
持つ者がいた集団は助かった

アメリカは決して
民間人を殺したりしない
全員で投降しましょう



米軍は26、27日で
主要な全島に上陸



(戦死) アメリカ31 日本530

その頃東京では

打つ手が無くなっていた
小磯首相が中国との
和平交渉に活路を
見出そうとしていた

何？
蒋介石に話が
通せるというのか
その者を東京へ呼べ



中国における日本の傀儡政権
『南京政府』首相の汪兆銘は
日本での治療の甲斐無く
4ヶ月前に病死していたが

その南京政府の役人で
元中国国民党員『繆斌』という
男が仲介話を持ちかけてきた



元々国民党と日本には
深い関係があった



日本で明治維新後に生じた不平士族の反乱は『西南戦争』で幕を閉じた

しかし、不満が消えた訳ではなく、残った者達は思想結社を組み、政治活動として『尊皇攘夷』運動を続けた

これが日本の『右翼』である



『玄洋社』頭山満

右翼は国際協調路線をとる明治政府への批判を続け

時に民衆を扇動して暴動を起し、時に要人暗殺などの過激な行動に出、存在感をアピールした

その主張は、世界の事情にそぐわない空想的で過激なものが多く、『観念右翼』とも呼ばれた



日比谷焼打事件

明治日本の勢力拡大に応じて、右翼の『尊皇攘夷』はアジアからの欧米勢力の排除という流れに一致し、日本は近代化に成功し独立を保った

目指すは中国の明治維新だ



辛亥革命を起した『孫文』やアジアの独立運動家の亡命などを支援するようになる

『革命の父』孫文

孫文率いる国民党の幹部は日本への留学で右翼の援助を受けた陸軍に入った蒋介石もその一人である

当時エリートの陸軍士官学校卒と言っていたが、実際は出ていない



蒋介石

孫文の死後、後継者となつたのが文官の『汪兆銘』と武官の『蒋介石』で

日本は約束を守らず、私は裏切者になつてしまつた



汪兆銘

日中開戦後、日本政府は抵抗を続ける蒋介石を見切り、ライバルの汪兆銘を譲歩案で招き新政府を作らせた

右翼思想はその後アジア全体が一つになる『大アジア主義』へ発展し、日蓮宗が加わつて天皇の下に全ての民族が平和を享受する『八紘一宇』となつた



『魔王』北一輝

その実現には、天皇を欺き昭和恐慌招いた政治家とそれに癒着した資本家の一掃が必要とされ、右翼思想家『北一輝』や『大川周明』は軍によるクーデターを激しく訴えた、これに影響を受けたのが陸軍の『皇道派』と呼ばれた派閥で昭和維新を名乗つて次々とクーデターを計画し、最後は『二二六事件』を引き起こした

だが、企業と金で女を弄るタカを舞うにやぶらばり、新聞記者がテロを恐る青年カリスマを統制する

他方で日本では天皇をも否定する純粋な共産主義(左翼)は広まる前に『治安維持法』で壊滅させられたが

残る共産主義の賛同者達は天皇だけは認めるように転向し、天皇制と一党独裁、統制経済の共産思想を融合させた

これも天皇を頂点に抱く右翼思想だが、左翼からの『転向右翼』と呼ばれた



転向右翼のプレーンに困まっていたと言われる近衛文麿首相

その全体主義思想に影響されたのが軍上層部に多い『統制派』と呼ばれた派閥で総力戦時代に強力な国防国家を作るといふ考えと結びついた結果



『統制派軍人』武藤章

『大東亜共栄圏』の概念とナチスを真似た『大政翼賛会』が生み出された

この2つの右翼思想によって『皇国』日本のアジア拡大主義は肯定され、陸軍内に『皇道派』と『統制派』という軍閥争いを引き起こした

さらに明治の廃仏毀釈からの復権を狙う『日蓮宗』原理主義者(石原莞爾もその一人)の過激派も右翼テロに加わり、昭和史を暗殺やクーデターで満ちた

結果、国際協調路線は破壊され、戦争の今の状況を招く事となつた

繆斌と直接交渉しようとする小磯首相に外務省は猛反発した

この繆斌という男は、収賄で蒋介石から党を追い出された奴だ

重光外務大臣

私は繆斌と商取引をしたことがあるが、彼は雨の日を指定して目方を誤魔化そうとした



しかし小磯に呼ばれた繆斌が東京に来てしまったので、陸軍情報部は蒋介石に連絡を取らせ盗聴を行つてみた

重慶政府に繋がってる様子はありません

格式を重視する天皇も、小磯首相の上奏に不快感を示した

一国の総理大臣が、そのような者に関わり振り回されるべきではない



4月1日
沖繩本島へ
18万の米軍が
上陸開始

1500隻の艦艇が
水平線を埋め尽くし
177隻の軍艦による
艦砲射撃10万発が海岸と
奥行き数キロを覆った

だが32軍は首里前面陣地での
持久戦略に切り替えていたため

全ては
空の土地に
打ち込まれた
だけだった



第5艦隊

32軍
首里

米軍は一発の
反撃も受けず
驚き戸惑いながら
無血上陸した

そーいや
今日はエイブ
リルフルだ

閣下笑えますな
奴らの真剣必死
ぶり!

フフ：毘かと
戸惑ってる
のだろう

築城は完成している
我々はただ南下を
待つてればよい

首里の線まで来た時は
一泡も二泡も吹かせてやる



高級参謀
それにしても
悔しいです

今こそ
最大の好機なのに
なぜ友軍の航空機は
来ないんでしょう

うむ：
今やらずして
何の天号作戦か

八高級参謀

牛島司令官

長勇参謀長



後半を
削除せよ

太平洋
艦隊司令官
ニミッツ

上陸軍司令官
ターナー

私は頭がおかしく
なったのかもしれない
ジャップ共は戦争を
放棄して他所へ
引き揚げたようだ

その後一週間経つても日本軍は
小部隊が抵抗しては撤退するだけで
『恐怖のターナー』は戦況を報告した

島を分断した後
南北へ進撃を開始した



海兵隊は北上

陸軍は南下



第5艦隊

日本軍防衛線

米軍は上陸初日に飛行場を確保し
3日目までに島の
横断を完了した

九州沖航空戦で消耗した『5航艦』は
散発的な攻撃は続けていたが
その他の『天号作戦』陸海航空隊は
まだ九州に集結中だった

飛行場を
無抵抗で明け渡した!?

海軍軍司令部

それでは機動部隊の
足止めも出来ないし

米機が進出したら
天号作戦が成り立たん

衝撃を受けた軍司令部は
すぐに参謀本部に対し
飛行場奪回の共同作戦を
持ちかけた

陸軍側も
陸海軍統合論者だった
瀬島龍三参謀などが奔走し
トントン拍子で話は決まった

陛下は先日
総攻撃での水上部隊の
活用をお尋ねになった

第2艦隊は東シナ海でなく
総攻撃に連携して沖繩に
殴り込みに行かせる

連合艦隊首席参謀
神重徳大佐

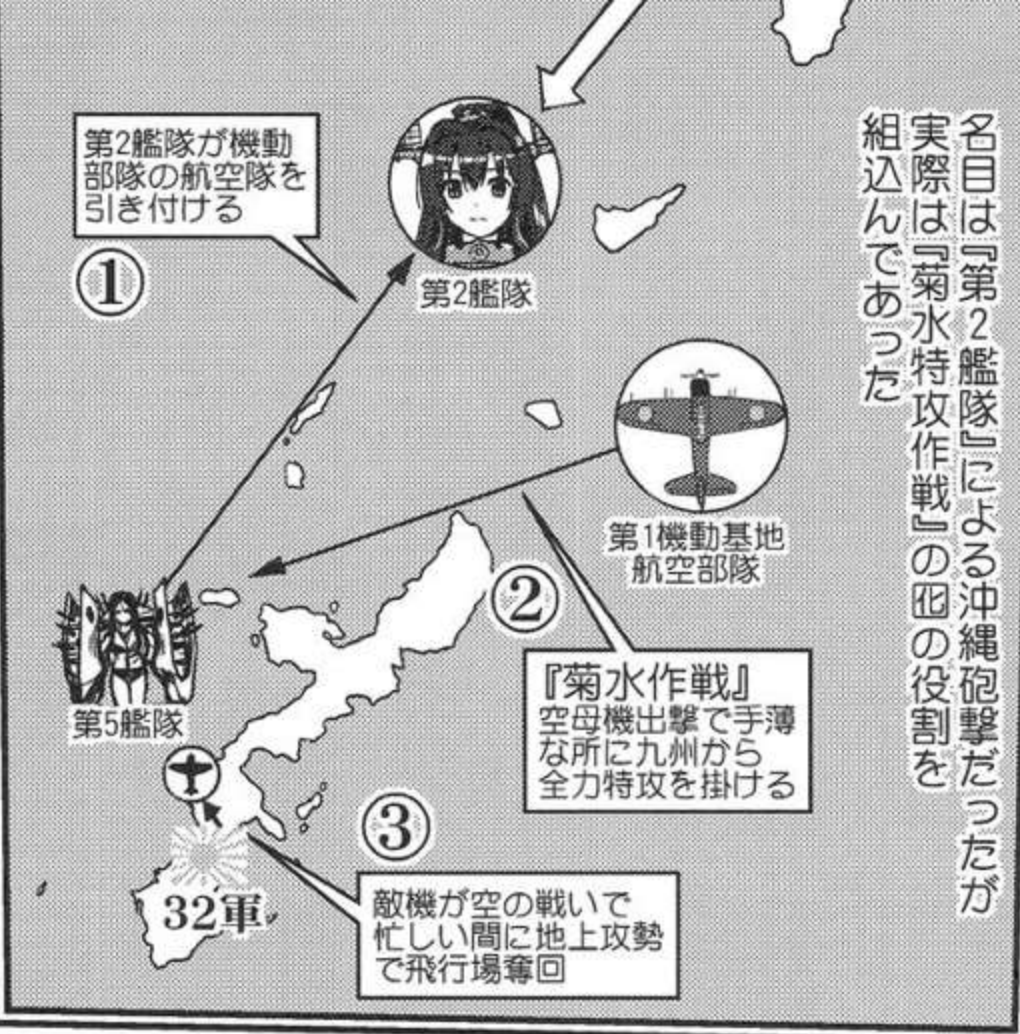


作戦は航空畑の草鹿龍之介参謀長が不在の間に

豊田連合艦隊司令長官と神参謀によって立てられた



名目は『第2艦隊』による沖縄砲撃だったが実際は『菊水特攻作戦』の囮の役割を組込んであった



もし『第2艦隊』が敵機網の突破に成功したら米上陸地点に乗り上げても当たるを幸い全弾撃ちまくり



それでも生き残ったら上陸して32軍と合流し地上戦を戦うとされていた

参謀長のご意見を聞かせてください

神首席参謀

すでに裁可された後で意見もないもんだ

九州から戻った草加は作戦を見て反対だったが手遅れだった

徳山港

参謀長が説明に来るらしいわ大和反対して!

たった9隻で大艦隊に突入し地上軍まで砲撃するなんて不可能よ!



山本テートクは

成功の見込みのない作戦を決して許可されませんでした

豊田長官は五分五分だと言っておられるぞ

参謀長はどうなのですか

成功の可能性があるとお考えですか!



大和これは海上特攻だ

戦争はこれから日本国民全員が国を守るため特攻に身を捧げることになる

お前にはその一億特攻の魅になつて欲しい

それに

もし出撃の機会がないまま我が国が敗れた時



お前が戦利品となつて
星条旗を掲げられ
アメリカで見世物に
なるのは耐えられない

お前だけは
日本の軍艦のまま
最期を迎えて欲しい

分かりました

燃料を集めろ！

日本中からだ

空の重油タンクでも
底に残つてる分を
掻き出せ！

豊田連合艦隊
司令長官

ごめんなさい
矢矧！

いえ

大和が
決めたのなら
もう私から
言うことはないわ

いよいよ
沖縄決戦よ

陸海軍合同の
一大反撃が決定した
『2水戦』と『大和』は作戦に
連携して沖縄砲撃に向かう

はい！

日本中の期待が
私達に掛かっています

不沈艦の
この『大和』

必ずや沖縄に辿り着き
世界最強の46センチ砲を
米軍に叩き込む覚悟です

しかも共に進むは『華の2水戦』

激戦を戦い抜いた百戦錬磨の強者たち

これ以上何を望みましよう

『ゴゴに海上特攻隊を編成し
壮烈無比の突入作戦を
命じたるは』

『帝国海軍力を
この一戦に結集し』

『光輝ある帝国海軍水上部隊の
伝統を発揚すると共に』

『その栄光を後世に
伝えんとするに外ならず』

遺書と遺髪は
こちらで預かる

死亡賜金の受取人を
変更したいものは
申し出るように

雪風？
早く私物整理しないと
時間ないぞ

だって
持ち物処分したら
帰った時困るでしょ？

ん…？
怒ってる
のか？

海上護衛総司令部

7千トンの重油のうち
4千トンを大和に回す？

冗談じゃない！
こっちはそれで朝鮮海峡の
哨戒と大陸輸送の予定を
立ててるんだ

南方が絶たれた今
本土決戦前に大陸から
の資源と食料輸送が
急務となっていたが

船舶と
燃料の不足で
運べない荷物が各港に
山積みとなっていた



大井参謀は連合艦隊に直談判した
が豊田長官の訓示を聞かされた

『その栄光を後世に
伝えんとするものであらず』

国を挙げての戦争に
水上部隊の伝統や栄光が何だ
馬鹿野郎！

作戦では『第2艦隊』の燃料は片道分となっていたが

現場の同情で鎮守府や他の艦からも回収され

大和には作戦行動往復分4千トン水雷戦隊にはほぼ満タンの燃料と弾薬が補給された

一方、沖縄では攻撃要請を受けて長参謀長と敵を目の前にした若い参謀達が沸き立っていた

撃って出ましょー

参謀長の考えに賛成です！

青二才共が何を言うか攻勢なぞとんでもない！持久戦を戦い抜くために何ヶ月も準備してきたんだ

孤立した八原は涙ながらに牛島と長に直談判したが

攻勢を実施すれば全軍数日で壊滅し哀れな最期を迎えます

二人は一瞥しただけで計画は変更されなかつた

4月6日 15時20分 『第2艦隊』は徳山を出発した

目的の隠蔽のため外海に出た後は西方へ向かった

徳山 第2艦隊 7日0時

だがすでに暗号が解読され作戦が漏れてた上に 出発5時間後の20時に豊後水道で潜水艦と遭遇し米艦隊に通報された

この機会に手柄を立てよ

戦艦出身のフラール・アンス大將は空母部隊でなく水上部隊(戦6巡7駆21)のデヨ少將に迎撃準備を命じた

しかし

武蔵は潜水艦が止めを刺したと陰口を叩く奴がいる

大和は我々だけで沈めるぞ

58任務部隊

アドミラルには報告しろ

4月7日 夜明けと共に敵機に発見され接触を受けた

クソツ あっち行け！

大和 三式弾一発撃ってやれば？

フフフ… 憎たらしいし そうしようかしら

7時 『朝霜』が艦隊から脱落する

『ワレ機関故障！』

動けよ！ 何だよこんな時に

この頃までに九州基地の独断で艦隊の前方哨戒を続けていた20機ほどの護衛の零戦は

全て米軍機に蹴散らされていた

艦隊の上空を飛ぶのは敵偵察機ばかりとなつた

やめましょー

こんな小細工意味ないです

『朝霜』が追いつけるか
少しだけ戻って

その後はもう
沖繩に向かって
最短距離で直行します

大和さん…

えっ？

あ…

行きま
しよう

沖繩では
陸軍と県民が
私達の大きな
砲を待っています

守るも攻むるも
黒鉄のー

浮かべる城ぞ
頼みなるー

浮ーかべる
その城

ひもと
日の本のー

みくに
よも
皇国の四方を
守るべし！

真鉄のー

その艦ー

日の本にー

あだ
仇なす
国をー

攻めよー
かしー





『ワレ米機30機と交戦中』

12時20分、『朝霜』から最後の通信が入り以後途絶える

10分後
『大和』の電探も
3つの編隊を
捉える

目標補足
いずれも大編隊
接近してきます！

250
85度

距離300
160度

雲は低く垂れ込め
目視に頼る日本の
対空戦闘には極めて
不利な状況だった



『浜風』爆弾1直撃
航行不能となる



発見と襲撃は
ほぼ同時と
なった

対空射撃が
間に合わない！



12時32分 戦闘開始

米第一次攻撃隊280機のうち
第1派が高度千〜千五百の
雲間から現れた



浜風エ
畜生ッ！

12時48分
『浜風』誘爆を起こし沈没



米軍は100機前後を
1派として4度の
波状攻撃を行った

『大和』
爆弾2
魚雷2〜8本
被弾

『矢矧』
爆弾1
魚雷1
航行不能となる



『大和』
爆弾5以上
魚雷10以上を次々に被弾

左舷ばかりに！

13時20分 速度の低下した『第2艦隊』に
米第二次攻撃隊106機も加わり
再び4度の波状攻撃を繰り返した



磯風スマナイ
手を貸してくれ

矢矧さん
しっかりしてください

撃墜はほとんど無く
悪夢のような一方的
攻撃は30分続き
一旦引いた



『涼月』爆弾1
航行不能となる

13時25分 フィリピン
激闘を生き抜いた
歴戦の『霞』も

爆弾2で大破
航行不能

今や歴戦揃いとなった
米機の見事な手際で艦隊は停止
防空戦闘は沈黙し攻撃は
演習のようになつていった

トシヤマイ



13時30分過ぎ
動けない『天知』に爆弾10
魚雷5、6が次々命中し沈没



救助に
当たっていた『磯風』も
巻添えで大破、航行不能となった

護衛も全滅：
テートク無念です

ああッ
大和さん



連合艦隊が
このような：

無謀愚劣の作戦で
最後を迎える
なんて：

『ワレ異常なし』

信号は大和の左右を
護衛する『雪風』と『冬月』
から送られた

いちにいさんッ

今や戦闘を
続けているのはこの
2艦のみとなっていた

特に『雪風』は攻撃の集中する
左舷を受け持ちながら

一発の被弾もなく
猛攻の中に留まっていた

雪風



オモ
想イ見ルベシ

ソノ闘魂ト練度トヲ

屈強二艦
ノ名ヲ賭シテリ
カ闘ナリ

吉田満『戦艦大和ノ最期』



大和は傾斜を立て直し
再び進み始めた

初霜：
通信ができない
替わりにお願い

はいッ

はぁ



やつぱり

戦艦『大和』は
不沈艦だ!!



沖縄へ

沖縄へ

沈没までの『大和』の正確な被弾数は不明だが



攻撃の左舷集中で『武蔵』よりはかなり少なかつたと言われる



傾斜が限界を超え46 cm 砲弾が衝撃で誘爆



14時23分 大爆発を起こして『大和』は沈没した

14時40分 『大和』の沈没を見届けると
残る駆逐艦は放置して米軍は引き揚げた



攻撃がやんだ：
初霜さん
冬月：
行こう沖繩へ



雪風
大和さんが沈んだのよ…



それが！
どうしたって
言うんです
まだ
三人残ってる
沖繩を砲撃する
ためにみんな
沈んだんでしょ！

しかし『初霜』『雪風』『冬月』が一旦現場の救助に当たっている間
16時39分
連合艦隊司令部は
作戦中止を決定した
横浜市日吉台
連合艦隊司令部



雪風
作戦は正式に中止されたわ
それと：
『霞』は私が
『磯風』は雪風が
処分せよとの命令よ



こんな…

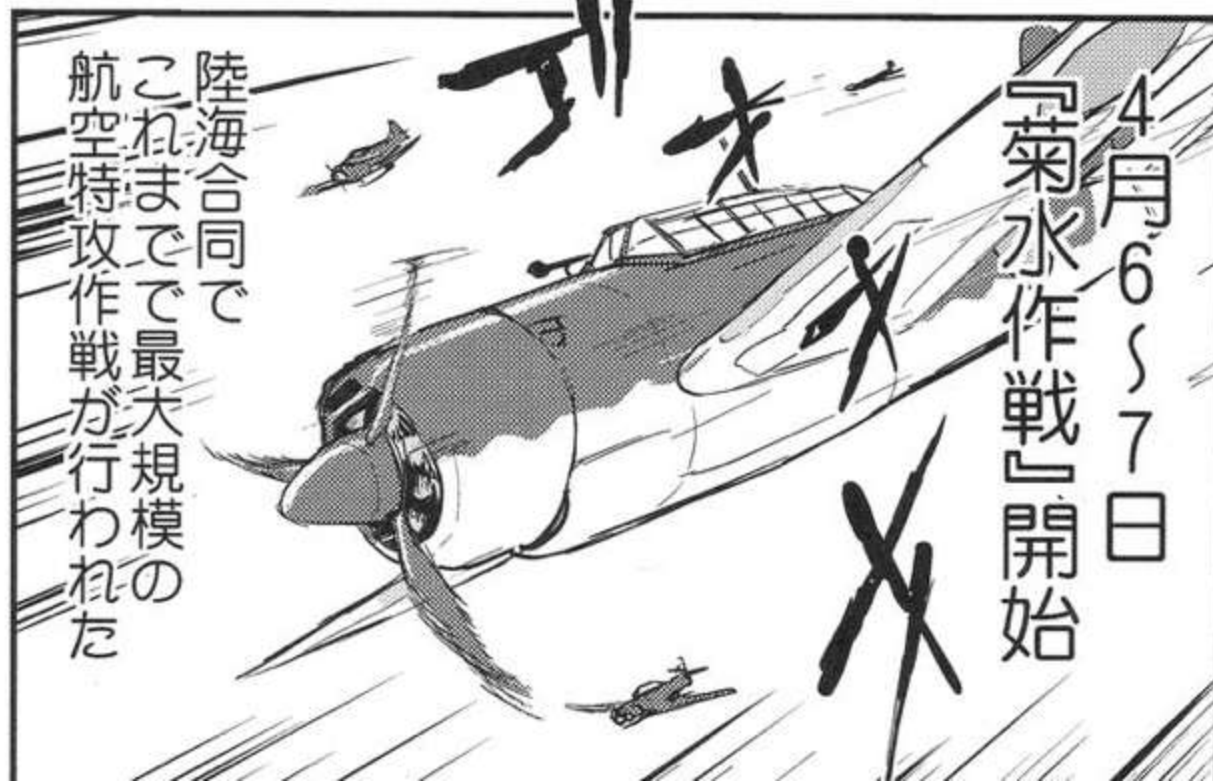


すぐ止める
くらいなら
どうして
こんな作戦
立てたんです



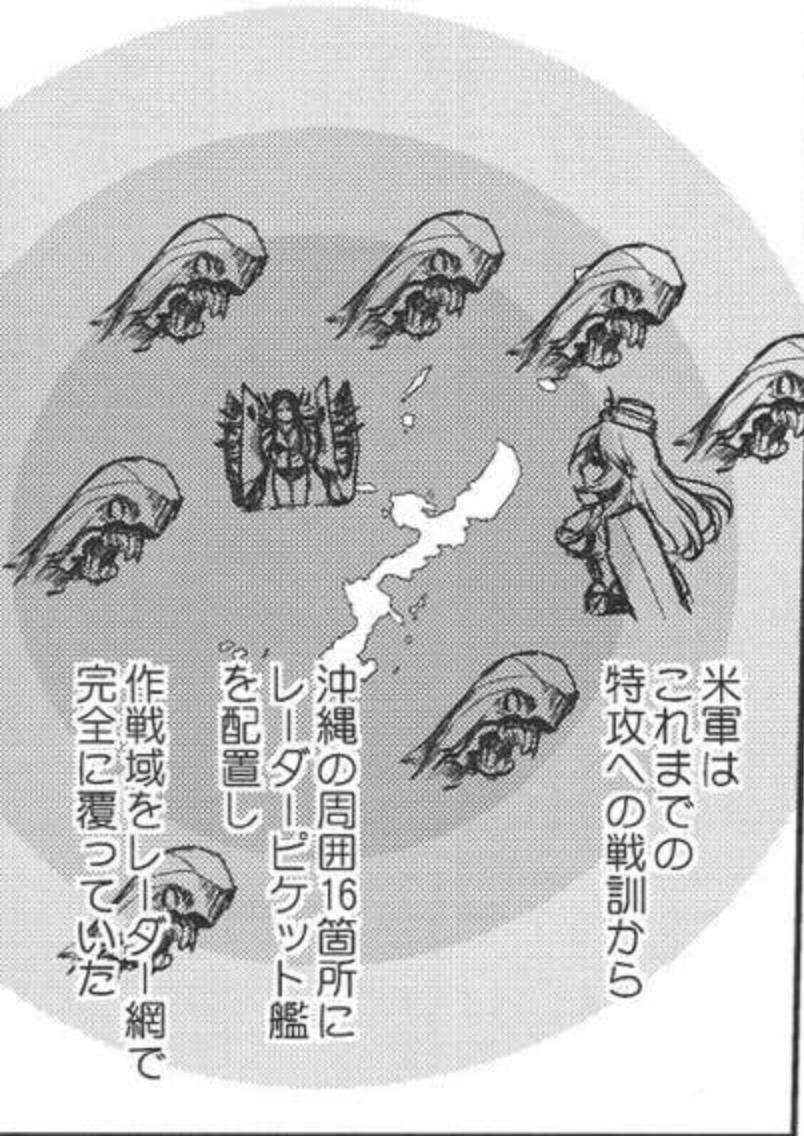
チクシヨウ！

一方、時を同じくして

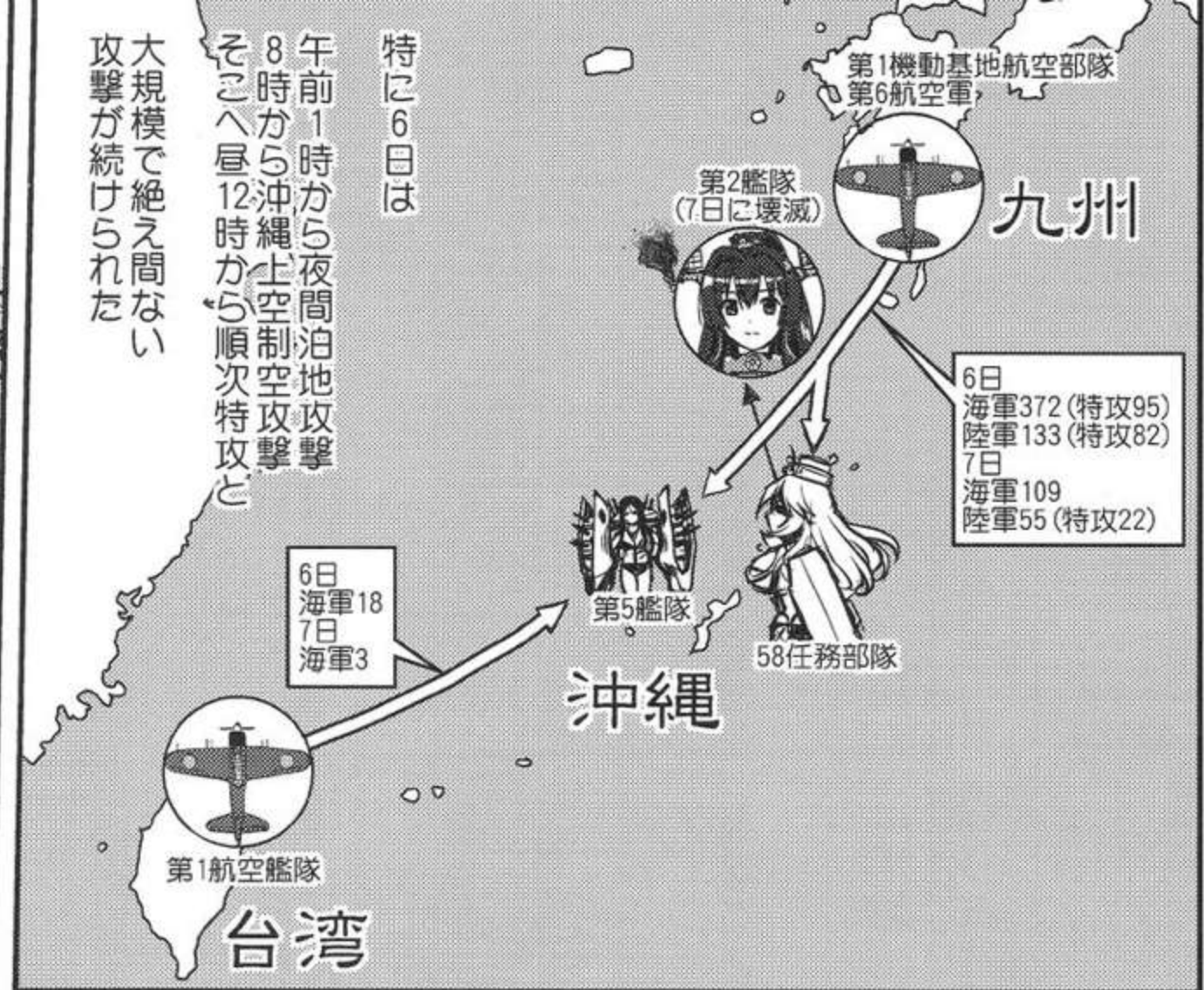


4月6〜7日
『菊水作戦』開始

陸海合同で
これまでに最大規模の
航空特攻作戦が行われた



米軍はこれまでの特攻への戦訓から、沖繩の周囲16箇所にリーダービケット艦を配置し、作戦域をリーダー艦で完全に覆っていた。



特に6日は
午前1時から夜間泊地攻撃
8時から沖繩上空制空攻撃
そこへ昼12時から順次特攻と
大規模で絶え間ない
攻撃が続けられた

6日
海軍372 (特攻95)
陸軍133 (特攻82)
7日
海軍109
陸軍55 (特攻22)

6日
海軍18
7日
海軍3



それでも数が多いと飛んでくる物を限られた時間で全て撃墜することは困難だった

弾薬皆無
帰投ス

戦闘機の護衛を求む

右舷に自殺機命中
慶良間列島に向かう

『沈没』6隻
駆逐艦3
輸送船3

『損傷』37隻
戦艦2
空母3
駆逐艦24
艦船8

日本は355機を失ったが大本営は大戦果を発表した

『菊水1号作戦』



沖繩の32軍は結局、八原参謀の『南部に新たな上陸船団を発見』という報告を理由に攻勢を中止した(米軍の欺瞞行動)

何ッ
それは一大事だ
攻勢どころではない
すぐに司令官に報告する!

驚き方がわざとらしい
参謀長も内心
考え直していたのか?

こうして4月6日からの
陸海連携の大攻勢は
バラバラの結果で終わった

4月7日 22時40分 九州沖

良かった…

17駆の仲間止めを刺してもらえて



磯風…
矢矧さんを
救助してなければ
きっと切り抜けたのに…

フフ…
私も死神に運を
吸われちゃったかな…

……!
オイオイ優秀艦が
こんな距離で外すなよ…



これを…
撃つてくれ…

頼む…
浜風と一緒に
居てやりたいんだ

『第2水雷戦隊』は
『霞』と『磯風』を処分した後
反転し帰路についた

翌4月8日
各艦は元々の行先だった
佐世保へ帰投した

8時『冬月』
10時『初霜』『雷風』

損傷で落伍していた『涼月』も
14時に自力で辿り着いた

沈没

戦艦『大和』
軽巡『矢矧』

駆逐艦
『朝霜』『霞』

『浜風』『磯風』

米軍の損害わずか10機

開戦時に日本が始めた
グーとパーの戦いはここに
米軍によって完成された

この戦いを最後に
艦隊に回せる国内の
重油は完全に枯渇した

坊ノ岬沖海戦

沖縄で陸海の反攻作戦が
進められている中
国内では政変が起こっていた



本土決戦に
大陸の部隊を回すため
支那問題の解決が必要です
工作を続けたく存じます

しかし閣議に囚ると
全員が反対に周り
小磯は孤立した

閣内不一致
ですな

もう総辞職しか
ありませんまい



陸軍も本土決戦に向けて
強力な『拳国一致内閣』を求め
すでに小磯内閣を見限っていた

4月5日
最後の内閣改造も陸軍大臣兼任も
拒否された小磯は辞表を提出

戦局の重要な時期に
政治的空白を作っただけの
小磯内閣は終わりを告げた

すぐに後継者を話し合う
重臣会議が開かれた



東條英機が倒閣以来
初めて公の場に現れ
恨んで余りある
重臣達と対峙した

密かに終戦を目指す木戸、岡田らは
天皇の信頼が厚く、二二六事件で
陸軍に殺されかけた老海軍大臣
『鈴木貫太郎』侍従長を推したり
次の内閣は
国の運命を決する

陸海軍を纏められて
広い視野を持つ者が必要だ
他に適任者はいない

東條は喧嘩腰で
ほとんど一人で
反対した

中には無条件降伏でも
和平を望む奴らがいる！
陸軍から出すのがある！



しかし東條も重臣の多数意見には抵抗できなかった

陸軍がそっぽを向かぬよう注意されるがいい危いものだ

木戸内大臣

陸軍がそっぽを向く？それはあなたの意見なのか！

陸軍は陛下の天命が下った者に従わないということですか

統帥の任にあつた者がよくもそんな事が言えたものだ！

いや：今の発言は取消す陸軍は人選に不賛成だろうと言いたかっただけです

選ばれた鈴木は一度辞退したが天皇の終戦の意思を悟り重ねて頼まれ天命を受け入れた

軍人は政治に関わるべきではありませんし老齢で耳も遠ございます

そこを曲げて頼む



終戦で重要となる外務大臣には最後まで開戦に抵抗した東郷茂徳を再任した

辞退したいが国家の非常時だ自由にやれるのが条件です

好きにやってもらってよろしい



陸軍大臣は穩健派の畑教育總監と梅津参謀総長によつて天皇の信任も厚い阿南惟幾大将が選ばれた米内海相は留任となつた

東條氏を陸軍大臣に推薦してしまつたことは今でも悔やみきれない

次官として仕えて初めて氏の狭量さと公私混同の激しさを知つた

今日の状況を招いた責任の一端は私にもある



4月7日 『大和』が沈んだ日 鈴木内閣は成立した

日本は敗戦の土壇場でようやく首相、陸相、海相の椅子にふさわしい者達を選んだ



だが日本ではすでに長い間陸軍が支持しない内閣は殺されたり倒されることが常態化していたので鈴木は最初から困難な政権運営を迫られた

『大和を治むるは小鮮を烹るが若し』

陸軍の方針に添いつつ好機を捉えて一気に終戦へ導くほかない



陸軍の政治介入は大正11年の維新元勳山県有朋の死後に始まつた

元勳亡き後軍内で薩長の派閥争いが激化し人事が混乱したため三長官会議が軍の総意とされて陸軍大臣を決定する機関となつた

これに更迭した派閥の介入を防ぐ『軍部大臣現役武官制』が加わり図らずも陸軍は内閣の寿命を左右する手段を持つことになつた

臣長監 大総総 軍謀育 陸参教 三長官

ただここまではあくまで組閣を妨害する政治介入だったが満州の権益から陸軍が金を持つようになると事情が変わつた

陸軍は満州や中国で財閥と結託したりアヘンを取り仕切ることで自由に使える巨額の『機密費』を生み出すようになった

田中義一大将は機密費を手土産に政党内閣に就任し中国強硬路線を取つて山東へ兵を送り権益保護に武力も使うようになった

また陸軍から資金援助を受けて活動する政治家も現れ『親軍代議士』と呼ばれた



満州派による政府は利益が出ないまま大陸への投資を続け、恩恵は関東軍と現地日本人役人、財閥が受けとつた

右翼もまた資金援助を受けドイツとの同盟など陸軍の方針に合わせ国内を扇動した

機密費は膨張を続け陸軍が支援をやめた政権はたち所に倒れるようになった

満州国とはようするに陸軍の『機密費』を生み出すための巨大な装置に過ぎなかつた

政治介入は『統制派』が陸軍主流となつてから加速し東條政権の下でピークを迎えた

陸軍は全選挙区に臨時軍事費で推薦候補を立てて圧勝し政治は完全に陸軍のものとなつた

武部六蔵 満州国総務長官



4月8日 鈴木首相は就任後初のラジオ演説を行った

私が一億国民の先頭に立ち死花を咲かすなら

国民諸君は我が屍を乗り越えて国運の打開に邁進すると確信します

演説は徹底抗戦の決意と取られ諸外国を失望させたが陸軍を刺激しない鈴木流の終戦への表明だつた



『大和』が沖縄に海上特攻し
鈴木内閣が成立してる頃
『天津風』は香港から門司への
輸送船団『ホモ03』に加わっていた

こうなったら
意地でも内地へ
戻ってやるわ

しかしすでに一帯は米軍の哨戒範囲で
出発2日後の4月6日
『B25』24機の空襲を受けた

『ホモ03船団』
天津風(擱座)
海防艦3(全滅)
貨物船2(全滅)
駆潜艇2(香港へ撤退)

船団は必死の対空射撃で3機を
撃墜したが突破できず壊滅した

一人残った天津風は
近くの厦門海岸へ辿り着き座礁した

日本の艦娘だ
何か持ってないか

コイツなんて
足がないんだ

あッ

何してんちのよ
アンタたち!!

チャンコロ共
あっちいけ!

匪賊か…仲間
連れてくるわね…

フフ…やっぱ
艦娘の死に場所は
海でしょ…

あんな奴らに
死体を陵辱される
くらいなら…
魚のエサになった
方がマシよ…

雪風…残念だけど
もうこの世じゃ
会えそうにも
ないわ

先に時津風たちと
待ってるわね
…天皇陛下万歳!

4月10日
『天津風』厦門で自沈

シンガポールから
日本へ向かった
最後の艦となった

沖縄

敵は『1号作戦』で大損害を受けている

後一、二撃を加えれば機動部隊も攻略船団も壊滅的損害を被る

宇垣は九州に続々到着する航空隊全てを投入し再び大規模な特攻を計画した

源田実の『343空』も九州に進出し護衛に加わった

32軍には大本営、台湾10方面軍、海軍全てが飛行場攻撃を強く迫った

八原、武士の面目にかけても攻勢に出ないとイカン！
1個旅団で夜襲を掛け成功すれば全力を投入する

この夜襲は必ず失敗する…損害が最小限で済むよう計画を立てるしかない

前回に比べて攻撃が不徹底だな
カミカゼの技量も低い

- 12日 海354(特98) 陸139(特80)
- 13日 海87(特40) 陸49(特18)
- 14日 海229(特52)
- 15日 海102(特10)

帰還機が多く損失は海軍125陸軍60

「沈没」
駆逐艦 1
上陸艇 1

「損傷」
戦艦 3
駆逐艦 15
艦船 4



長勇参謀長



間髪をいれず4月16日から『菊水3号作戦』

- 16日 海415(特176) 陸90(特50)
- 17日 海163(特45)
- 18、19日 海33(特4)

損失は海軍120陸軍45

イントレピッド 本国へ後退だ

ファン：カミカゼ アタックは4度目よ
またすぐ戻るわ

主力を使い切った宇垣はこれで大規模特攻は終了とし、未着部隊には本土決戦に備えるよう命じた

12日に実行された長の夜襲も1km進んだだけで集中砲火に会い半数を失い撃退された

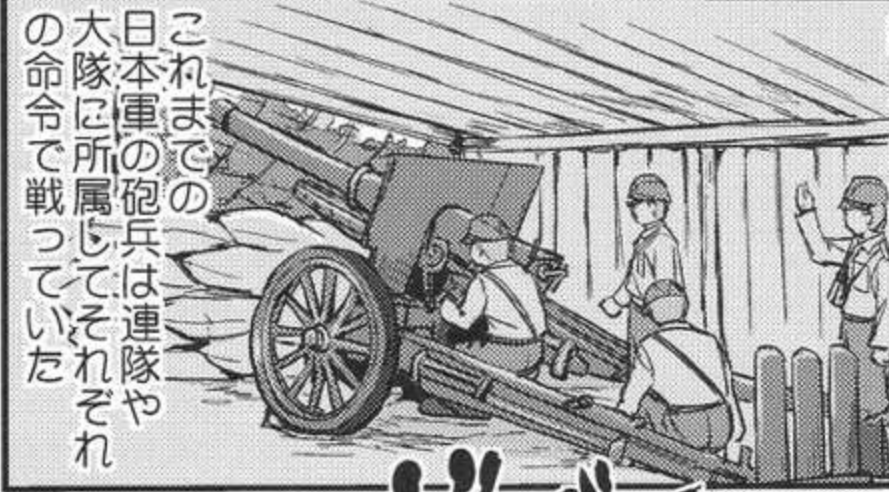
戦略持久の方針が戦闘が始まるや上下軽拳妄動
思いつきで攻撃を命じた
貴重な正規兵力を消耗した



夜襲を行った12日は、これまで順調に南下してきた米軍が32軍の防衛ラインに到達し本格的な戦闘が始まった日でもあった



32軍は直属の砲兵として教官クラスの人材が揃った『和田砲兵団』を持っていた



これまでの日本軍の砲兵は連隊や大隊に所属してそれぞれの命令で戦っていた

一方、千km南のルソン島では



しかし沖繩では和田砲兵団が全軍の砲兵を統一指揮下に置き

太平洋戦争で初めて近代射撃統制を行い、最前線の火力支援に絶大な効果を発揮した



ファック！ ジャップの砲兵をドイツの将校が指揮してやがる！

牧港―嘉数―西原―和宇慶の第一線は頑として敵を寄せ付けず

米軍は二回数十kmかあるいは全く進撃できない日が続いた

こっちは見えないのにジャップには見えてるまるで山と戦ってるようだ



よし！ 予定通り進んでいる

北部に長期戦態勢を敷いた山下の目的は？
1、沖繩戦の間北部ルソンの飛行場を使わせないこと
2、米軍をなるだけ長く引き付け本土上陸の時期を遅らせること



9号線のイリガシ峠では米戦車に
太刀打ちできない日本戦車は
20kgの爆雷を括り付けでの
体当たりに使われた



激戦が続くサクラサクラ峠には
中国での任を解かれた
ステイルウエルが
視察に訪れた

考える
最悪の地形だ
環境の酷さは
ビルマと五分だが

こっちの日本軍は
蛸壺でなく
陣地を築いてる

山下は軍属や後方要員で大隊を編成し
手薄になった戦線に次々送り続けた
逃亡防止に戦線後方には憲兵が控えた

「皇軍」じゃなくて
「蝗群」だな

望みのない補充兵達は
前線への道で次々に略奪を行ったため
フィリピン人に大変評判が悪かった



ヨーロッパ戦線では
ドイツが東西両面から圧迫
され最終局面を迎えていたが

ドイツは自ら住掛けた
『絶滅戦争』の復讐を恐れて
ソ連軍には激しく抵抗し
米英連合軍には逆に
積極的に投降を行った

南部では山下の『尚武集団』と切り離された
『振武集団』が『41軍』へと昇格し
マニラ陥落後はこちらも山へ籠もって抵抗した

『41軍の戦い』
2月下旬～5/17
日本が水源のダムを止め
日本は水不足に陥り
米軍は攻略作戦を行う
米軍は山奥へ後退し
陥落後日本は山奥へ後退し
多くの餓死者を出す

8師団
43師団
マニラ
ポダム(マニラの木30%)
ワブダム(マニラの木15%)

『ロスパニオス収容所』
2/24米捕虜2147人を開放

511空挺連隊
藤兵団
158歩兵戦闘団
バタバオ山

『藤兵団』
バタンガスの兵力を
多く見せる欺瞞部隊
運滞戦術で食料豊富
なバナハオへ後退して
終戦まで自活
ルソン唯一の成功した
作戦と言われる

『ピンセット作戦』
2月初旬～4/29
バタンガスから
マニラまでの道路と
米軍捕虜の開放作戦



猜疑心の強いスターリンは
これを見て米英とドイツの
密約を確信

アメリカとイギリスは
ドイツ西方軍と協定を結び
戦線を明け渡し代わりに
降伏条件を緩める取引を
している!

4月3日 外交的に非礼かつ
傲慢な調子で激しく抗議した

ドイツはその兵を
東部へ向けていたのに
なぜソ連に隠すのだ!
同盟国を欺くのか

その頃ルーズベルトは体調の
悪化が止まらず3月末から
医者の指示で緊急の休養中だった

スターリンの動ぐりと
ハタタリに憤慨したが
強くは出なかつた

我々の偉大な
仕事を阻むのは
相互の疑心暗鬼です

そして9日後の4月12日午前中
椅子で新聞を読んでいる
時に脳出血で倒れ
7時間後に死亡した

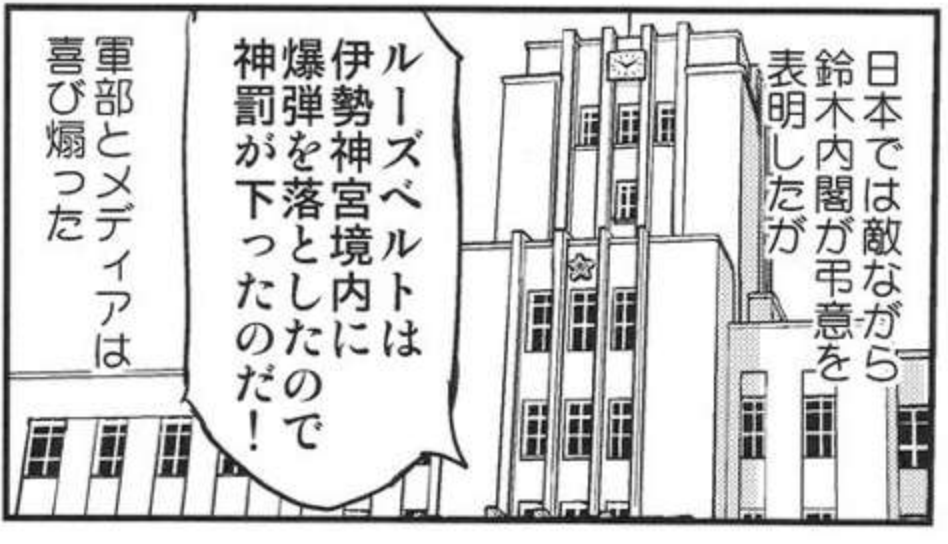
頭が割れるように
痛い

国民から『不世出の大統領』と慕われ
政敵から『アメリカでなく世界の
大統領になろうとしている』と
批判されたルーズベルトは
20世紀最大の仕事の結末を見
ないまま世を去った



スターリンは
大西洋憲章に署名した
自国の安全が欲しいだけ
条件を付けずに譲歩して
安心させれば無茶な要求は
してこない

ルーズベルトの遺稿
『国家間の意見の対立を
国民を多数殺戮することで
解決するという信じがたい
非現実的なやり方を永久に
終わらせねばならない』



日本では敵ながら
鈴木内閣が弔意を
表明したが

ルーズベルトは
伊勢神宮境内に
爆弾を落とすので
神罰が下ったのだ!

軍部とメディアは
喜び煽った



その日のうちに
後任に就いたのは
ハリリー・トルーマン
副大統領

トルーマンは
より明確に
『アメリカの大統領
だった』

ルーズベルトは副大統領に何も相談しなかつたので、トルーマンは初めてヤルタの密約や原爆開発など機密情報を知った

ソ連は解放した国で亡命政権を無視し、共産党員を起用している。これは軍事占領だ

4月17日 特攻の被害に悩むスプルーアンは二ミッツに陸軍航空軍の協力を求める意見を具申した

マリアナのB29で九州の飛行場を爆撃し、特攻機の出撃を阻止して欲しい

トルーマンはソ連外相モロトフを呼び出し激しい口調で非難した

ロシア人はヤルタの取り決めに一字一句守らなければならぬ

今後はソ連への一方的な恩恵はまかり通ることを許さないだろう!

ルメイは嫌がったが「九州の飛行場破壊は爆撃団の最優先作戦である」と命じられ、時限爆弾による爆撃を始めた

滑走路にいくら爆弾を落としても効果はない

5月11日に効果が低いと打ち切られるまで『B29』の75%を九州へ出撃させた

私はこれまでかかる口調で他人に物を言われたことはない

とにかく約束を守ることだ! そうすればこのように言う者はいなくなる

スターリンはそれまで条約を守るつもりだったと言われるがトルーマンの登場で米英とソ連の関係は急速に硬化した

4月20日 燃料不足で動けなくなった大型艦は全て予備艦となった

第4予備艦
『戦艦』 門名勢向
『空母』 天隼龍鳳
『巡洋艦』 青葉
『戦艦』 長榛伊日

私だけは連合艦隊付属で現役よ

同時に『第2水雷戦隊』も解隊された

連合艦隊司令部は迷った末、航空戦力の温存方針を撤回、『菊水作戦』の続行を決定し、『3、10航艦』に極力兵力を抽出しよう命じた

機動部隊には相当の被害が出てるのに後退しないのは地上戦の囿にしている可能性もある

陸軍からの苦情もあり、今後は空母ばかりでなく、輸送船や停泊艦船も狙っていく

32軍が飛行場奪回に出ないなら、援軍の上陸作戦も考えている

4月21日 特攻は機数不足のため、夜間ゲリラ方式に変更して続行された

『菊水4号作戦』

20~22日 海258(特26) 陸96(特42)
23~25日 海84(特2) 陸7(特2)
27~30日 海587(特100) 陸120(特74)

夜間攻撃に加え悪天候、故障で帰還機が非常に多い

損失は—
海軍65 陸軍50

『沈没』 艦船3
『損傷』 空母1
駆逐艦13
艦船6

4月18日深夜 総攻撃前の夜に渡河米軍に夜襲はないと思っていた守備隊は不意を付かれて戦線を破られる

4月19日 沖縄の米軍は全戦線に渡って総攻撃を開始

地上戦は最初の佳境を迎えた

『嘉数の戦車戦』 4月20日 総攻撃でM4戦車30両が高地表側へ侵攻するも22両が撃破され退却

北西の一角が食い破られたが、『和砲兵団』の支援を受けた『62師団』は3個師団を相手に4日に渡り攻撃を撃退し持ちこたえた

嘉数では負ける気がしない

しかし『62師団』の消耗は激しく、北からの包囲を防ぐため24日までに第2防衛線に整然と後退し再び米軍と対峙した

これは賭けだが、上陸の可能性は低い

32軍は南方からの上陸に備えていた装備優秀の『24師団』に北上して予備兵力となるよう命じた

沖繩はなぜ攻撃に出ぬか



ソ連軍はすでにベルリン市街に突入しドイツの敗北は数日の間に迫っており、天皇も沖繩での一勝を最後の機会と焦っていた

4月30日 この日天皇は米内海相に海軍の戦い方に詳しく下問を行った

『天号作戦』の大和以下の使用法不適當なるや否や

『あ号作戦』は残念な結果になったが潜水艦の存在を知らながら強行したのは連合艦隊長官か艦隊司令か

沖繩戦は一ヶ月経ち未だに前線の62師団が健在で『24師団』『44旅団』がほぼ無傷で残っている状況に再び長を中心に攻勢を望む声が高まった

八原君！君と僕は難局にばかり差し向けられ今や沖繩で共に死のうとしてる

君にも意見はあろうがどうか快く同意してくれ

あの豪快な参謀長が涙を...



要請を受け続けている牛島司令官も長らに同意し全軍の運命を賭けての総攻撃は3日実行に決定された

すでに決定は下したこれ以上反対して全軍の氣勢を殺がぬよう注意せよ

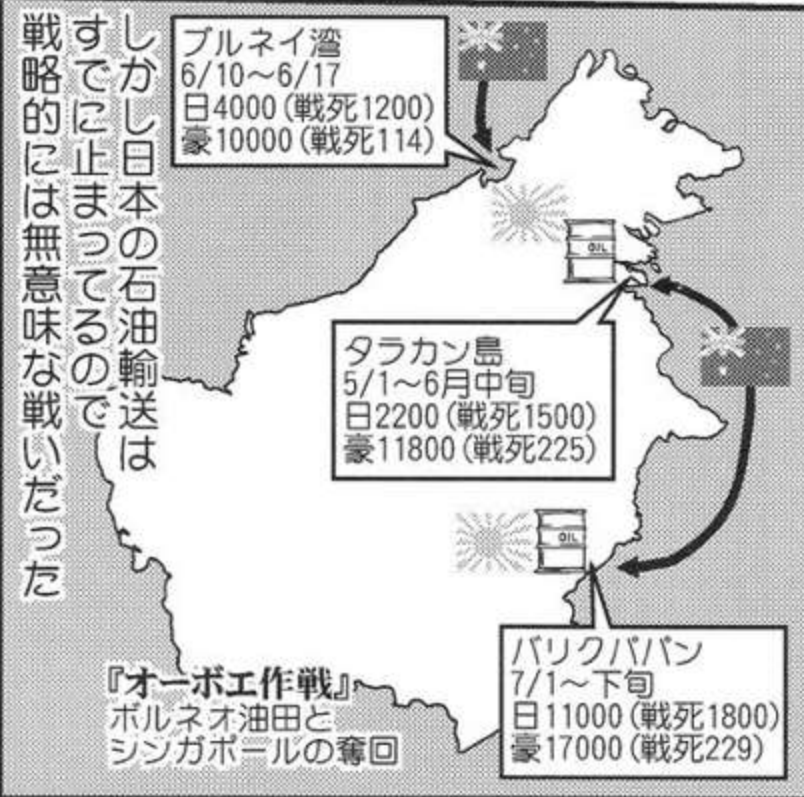
これは無意味な自殺攻撃に過ぎぬものですが職責を尽くします

4月30日 ソ連の前線はヒトラーまで残り200mまで迫り

ヒトラーは自殺した

破滅に瀕したヒトラーは国内の全ての施設を破壊せよと命じドイツも共に滅ぶことを望んだが誰も実行しなかった

5月1日 オーストラリアを主力の連合軍がボルネオ島攻略を開始した



5月2日 待望の32軍の総攻撃に陸海航空兵に全力で協力し次の『菊水作戦』が行われた

『菊水5号作戦』

英空母3隻に特攻機が命中したが『大鳳』と同じく甲板が装甲化されていた250kg爆弾では凹むだけだった

セメントで埋めれば問題ない

2~4日 海449 (特160) 陸136 (特80)
5~7日 海133 陸26 (特11)
帰還機多し 損失は 海軍75陸軍50

英空母損傷 『フォードミタブル』『インドミタブル』『ヴィクトリアス』

『沈没』 駆逐艦3
『損傷』 艦船4
巡洋艦1
空母4
戦艦1
駆逐艦8
艦船1

5月11日 『菊水6号作戦』

旗艦『パンカーヒル』に2機命中、大火災を起こして修理に帰国しそのまま終戦を迎えた

レーダーが捕えてない！ ジャップが低空でぐぐり抜けてるぞ



旗艦は『パンカーヒル』から『エンタープライズ』へ変更された

5月13日 堪りかねた機動部隊は自ら九州の特攻基地攻撃のため北上した

一ヶ月以上続く自殺攻撃で皆精神が参ってる敵も苦しいことを証明してやる

見る反撃がない！ ジャップにもう戦力は残ってない

その時雲間から突如500kg爆弾を抱えた零戦が特攻

『エンタープライズ』大破

こちらも帰国したまま戻ることなく武勲艦のレイコウ(灰色の幽霊)の戦いは終わった

8~11日 海345 (特86) 陸80 (特35)
12~15日 海237 (特47) 陸15 (特13)
損失は 海軍70陸軍80

『沈没』 艦船5
『損傷』 空母2
艦船11



旗艦は次に『ランドルフ』へ変更された
やっと
出番か

特攻で米正規空母の退場が相次いだ
建造はそれ以上に進んでいた

4月 エセツクス級16隻目
『ホクサー』(CV21)

私達も
いらぬ
かもね

6月17隻目
『レイク・シヤンプレ』(CV39)

さらに9隻が建造中で
6隻が予約中だったが過剰になり
予約分は3月にキャンセルされた

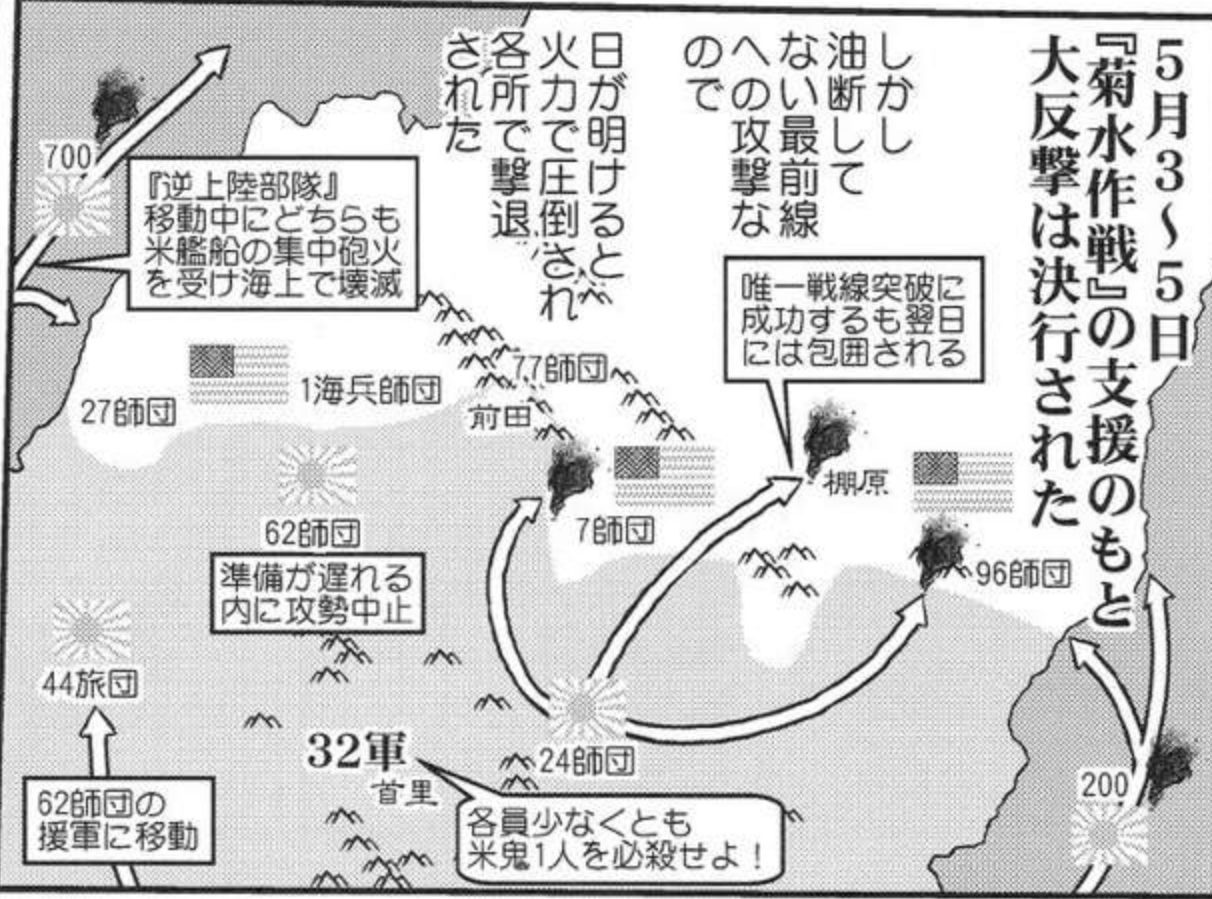
4月28日 『フランクリン』は大破した
ままの姿でニューヨークに入港し

平和な日常を
満喫する二回ヨーカーに太平洋で
今何が起きるかを見せつけた

5月3〜5日
『菊水作戦』の支援のもと
大反撃は決行された

しかし
油断して
ない最前線
への攻撃な
ので

唯一戦線突破に
成功するも翌日
には包囲される



日が明けると
火力で圧倒され
各所で撃退
された

『逆上陸部隊』
移動中にどちら
も米艦船の集中砲
火を受け海上で壊滅

大小400門の『和田砲兵団』も2万発を
撃ち尽くし前線に出じた多くの砲を失った
以後1日一門10発に制限され
二度とこれまでのような
集中砲火はできなくなった
温存していた戦車隊も壊滅
精鋭24師団は三拳に6割以上を失った

ウシジマは
気が狂ったんじや
ないのか?
苦勞してた兵も砲も
向うから陣を出てくれた
世にも不思議な作戦だ
ハハハハ!
米10軍司令官
バックナー中将

5日 牛島は涙を流し失敗を認めた

今後は一切を任せる
思う存分やってくれ

中国軍相手の経験に
捉われ米軍に対する
認識が甘い...

八原は
すぐに作戦を中止し
後退命令を出した



5月7日

ドイツ無条件降伏

沖縄の総攻撃失敗

天皇はこの時からもうはや
一勝にこだわることを止め



戦争終結への意思を
固めたと言われる

すでに先月5日にソ連は
1年後に切れる『日ソ不可侵条約』
を更新しないと
通達してきて
いた

極東のソ連軍が
急速に増加している
外交で参戦を阻止する
努力が必要だ

阿南陸相

海軍は燃料が欲しい

『長門』『利根』『鳳翔』に
駆逐艦5隻を付けて
燃料と航空機に
交換できないだろうか

米内海相

ソ連という国を
知らないにも程がある

今さらソ連を経済的
軍事的に利用できる
余地などない!

東郷外相

和平の仲介こそ頼むべきで
そのためには樺太と満州を
日露戦争以前の状況に戻す
くらいの代償が必要だ

そんな敗戦した
かのような条件で
交渉は出来ない!

日本はまだ開戦前より
遥かに多くの領土を
支配している



結局、条件は決めずに
元駐ソ大使の重臣『広田弘毅』が
駐日大使マリクに自然な形で接触し
ソ連の腹を探ることとなった

日本はもっと
ソ連との友好を深め
長期間に渡る
平和を望んでいて
その形式を検討中です

我国の日本不信は
日本の長年に渡る
反ソ政策のせいです
：しかし数日
考えてみましょう

6月3日ようやく疎開先の箱根で
会談にこぎつけたが、以後マリクは
仮病を使って避けるようになった

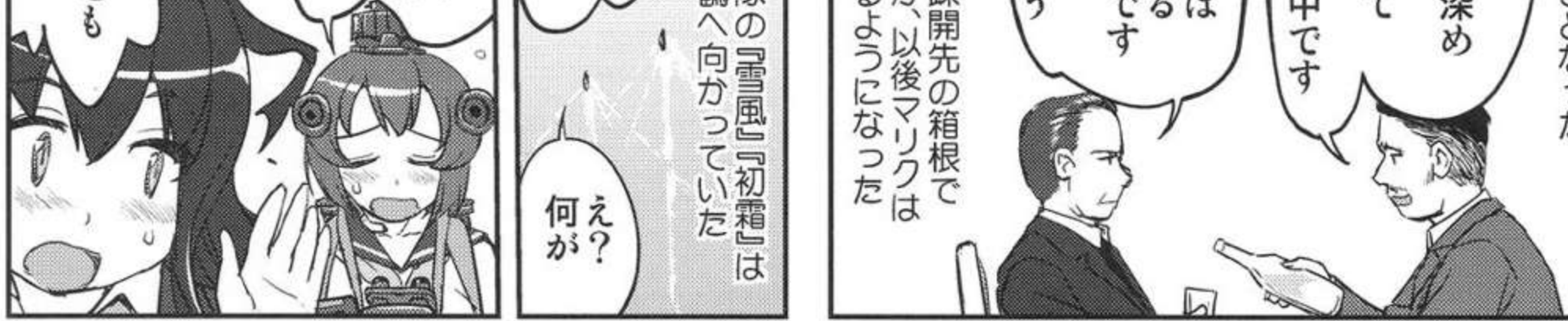
5月15日 17駆逐隊の『雪風』『初霜』は
佐世保を出港し舞鶴へ向かっていた

そういうえば
初霜さん
すみませんでした

天号のときはつい
怒鳴ったりして…

先任艦にあんな
口の利き方

は？
いやいや全然何とも
思っていないし！



B29が軍港に機雷投下を始めたので
自力航行できる艦は日本海側の
舞鶴へ移動が命じられた

『陛下の浴槽』
に移動だよ

呉からは錬成部隊『11水雷戦隊』の
『酒匂』以下2等駆逐艦3隻



『響』も対潜水艦『105戦隊』へ編入
され呉から舞鶴へ向かった
何の因果か
まだ生きてる



シンガポール
南方では燃料が有り余っていたが
『第10方面艦隊』で健在なのは
3艦のみとなっていた

妙高姉さんや
高雄は動け
ないしね

第5戦隊

羽黒

神風



5月12日 『羽黒』と『神風』は
アンダマン諸島への補給と、
一部兵の引揚げ任務についた

『アンダマン諸島』
チャンドラ・ボース
が領地を欲したので
日本は統治権を
一部与えていた

しかし
潜水艦に発見され
英東洋艦隊は
駆逐艦5隻を
攻撃に向かわせた



日本側も
陸軍機が敵を
発見し一旦
退避でペナン
に向かった

16日未明 双方がレーダーで
敵を発見し『羽黒』らは
逃れようとしたが
追いつかれて
夜戦となった

機関不調で速度が出ない！
私が撃ち合ってる間に
神風は脱出して

日本側は荷物のため
魚雷を積んでおらず
砲撃で応戦するしか無かった



『羽黒』は魚雷2本を
受けて沈没した
その後アンダマン諸島への
輸送は停滞し島民共終戦まで
食料不足に襲われた



ペナン沖海戦

さらに『南方軍』寺内元帥は
戦線の後方に置き去られた
豪北方面10万の半分を
シンガポール方面に
移す輸送作戦
を命じた

4月7日
輸送中に潜水艦
『ガビラン』『チャー』
の4本の雷撃で沈没

作戦中に
『五十鈴』や
『足柄』も撃沈され
残るは『神風』
のみとなった



6月8日
輸送中に潜水艦
『トレンチャント』
の4本の雷撃で沈没

8月3日
『橋丸事件』
被害続出で苦し紛れに
赤十字病院船を使用
戦争犯罪の一つとなる

5月11日 米軍二度目の総攻撃開始

バックナーは首里攻略の目処はついたと思っただが、八原は残る部隊で再び持久戦態勢に入り頑強に抵抗した

雨季に入り泥沼で米軍の補給も停滞して

またしても前進どいつの状況になっただ

5月12~21日『安里52高地の戦い』(シユガーローフヒル)新規部隊同士の激突 次激 沖繩戦のみならず最大の戦 世界大戦とも言われる 戦の一つとされる 米海兵隊1290名が精神に異常をきたす

5月11~20日『弁ヶ嶽の戦い』(チョコレートドロップ)連日の激戦に疲れ果てた双方が撃つのを止めて距離20mで罵り合った

5月11~22日『運玉森の戦い』(コニカルヒル)



沖縄の日本軍には飢えがなかった

秋の本土侵攻を遅らせるためそこまで耐える全軍6ヶ月分の備蓄食料がある

壕内は30度(戦前華氏80度)と暑かったが夜も風雨を凌いで眠れた

『歩兵屋』バックナーはがら空きの南部上陸を行わず

万一包囲されたら無理な救出作戦を強いられる

32軍は賭けにも勝っていた



5月7日 豊田長官は沖縄から後退した空母がいるウルシーへ再び『銀河』24機で『梓特別攻撃隊』を編成し遠距離攻撃を実行した



出発前に故障4事故1で5機脱落

この頃は完成機の7割に故障が発生し質の低下が深刻だった

第二次丹作戦

飛行中に15脱落残り4機になり諦めて引返す

ウルシー泊地

機数不足に陥ってる海軍は次からの特攻に低速練習機まで投入することを決定した



練習機『白菊』

515馬力 230km/h 7.7ミ機銃*1 60kg爆弾

一方、米艦隊も昼夜問わず現れる攻撃に長期間の緊張を強いられ疲れ果てていた

一体いつまでカミカゼの的としてジツとしてないといけないんだ

軽傷で後退してぐっすり寝てる連中が羨ましいわ



中でも特攻機に最初に目に入る外周のリーダーパイロット艦は次々と突入を受けて被害が集中していた



(意訳) ジャップ空母はあっちだ

特攻は敵も味方も追い詰めていた

俺は輸送船2隻は沈める自信がある、その時は帰ってきてよいですか!

ならん! 死んでこい

クソッこんな奴が海軍大將なのか

連日の特攻の送り出しに宇垣もノイロ一せになつていったと言われる



特攻隊員は表向きは志願という形だったが

命が惜しくて帰って来たのか! 死ぬのが嫌か卑怯者! お前ら重人のクズがよく飯が食えるな!

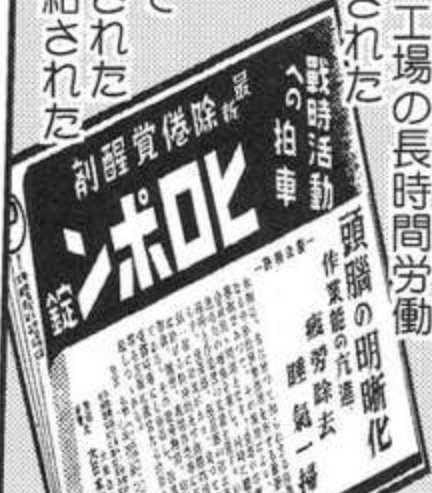
この頃になると三分の一は出撃を嫌がり帰還機も激増していた



福岡『振武寮』陸軍の特攻帰還者はこの寮で再教育された

戦前は疲労回復薬として覚醒剤が市販され、大戦中にはパイロットや夜間の見張り、工場の長時間労働などでも使用された

特攻隊員にも菓子に加工して菊の御紋が押されたヒロポンが支給された



九州基地では錠剤より即効性のあるアンブル注射も行われ1036名が受けたと言われる

それでもどうしても自分から乗ろうとしない者は

最後に整備員達が抱えて乗せていた

前日まで鬱々殺伐としていた隊員達が当日の出撃前にはまるで別人のようになっていて前向きで気力充実の様子で笑顔で飛び立って行ったという証言が残っている

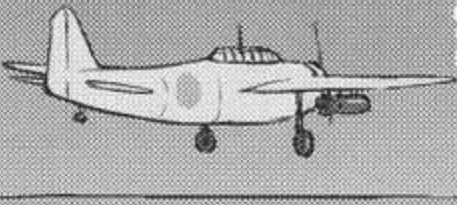


5月24日 『菊水7号作戦』

陸軍が『義号作戦』で飛行場を
使用不能にする間に総攻撃と
いう計画で行われた

低速練習機も
特攻の命中率15%
(通常は50%)という
机上の計算で投入された

23, 24, 25日
海387 (特107)
陸147 (特61)
損失は
海軍4.1陸軍100



『沈没』
駆逐艦1
『損傷』
艦船1
『駆逐艦』
駆逐艦14

夜間低空で近づく
『白菊』は低い期待を
裏切り戦果を上げた

同24日 敵飛行場に有無を言わず
着陸し手当り次第に
周りを破壊する
『義号作戦』は
再び行われた



『義烈空挺隊』
97式重爆撃機
12機 (各14名)

5月27日 スプルーアンスの疲労を
考慮したニミッツは作戦途中で
ハルゼーと交代させた

スプルーアンスは
随分やつれたな



5月27日 『菊水8号作戦』

陸軍は32軍の
首里撤退を知り
最後のやる気を見せ
海軍が付き合う
形で実行された

26, 27, 28日
海217 (特51)
陸71 (特57)
損失は
海軍60陸軍50



『沈没』
駆逐艦1
『損傷』
艦船3
艦船5

唯一の沈没
駆逐艦『ドレクスラー』
は白菊2機の命中で沈没
し168名が戦死した

5月24日 九州の飛行場爆撃を止めた
ルメイの手元には1000機の
『B29』と焼夷弾が揃い
東京から都市爆撃
の仕上げを始めた

5月24日
『東京』過去最大
520機 (損失7)
3646ト
762人64万戸

5月26日
464機 (損失27)
3258ト
3242人16万戸
皇居の宮殿も焼け
東京の6割が焼失



大都市は
灰にした

しかし今度は日本も
低空爆撃に対して
迎撃60機と高射砲部隊
が奮戦し『B29』に過去
最大の損害を与えた

その後の都市爆撃
5/29 『横浜』
6/1 『大阪』
6/5 『兵庫』
6/7 『大阪』
6/9 『名古屋』
6/10 『関東全般』
6/15 『大阪』
大都市爆撃は終了

都民は消化待機せず火災旋風も起きな
かったため3月のような被害はなかった

この空襲の後
内務省はバクツツシなどの
『民間防空体制』が
無意味だと認め
罰則などは撤回された

5月22日 沖縄では最後の首里防衛
線が崩れて『首里玉砕』が『南部転進』
か部隊長を集めて会議が行われた

軍の目的は戦略持久
南部には24師団の陣と
食料弾薬が有る

意見は様々だったが八原の案に
従い撤退が決定された



5月25日 豪雨の中『32軍』は10 km
南の島尻地区へと後退を始めた



残存4万5千のうち米軍の追撃や
負傷兵の脱落、県民の防衛隊脱走
などで1万5千人が失われた

5月29日 首里陥落
沖縄戦の大勢は決した

ビルマ方面

ビルマ方面軍は英印装甲部隊の進撃に
寸断され4月には首都ラングーン
陥落は時間の問題となっていた

『ベトナム飢饉』
3/11~9/2
占領した日本軍はビル
マ後方の軍備を徴発した
大量の食料を米に頼るし
ため南部の米が不足し
部では飢饉が



折から疫病も流行する
など複数の要因が重なり
日本軍の調査で40万
戦後のベトナムの発表
では100~200万という
未曾有の餓死者を出した

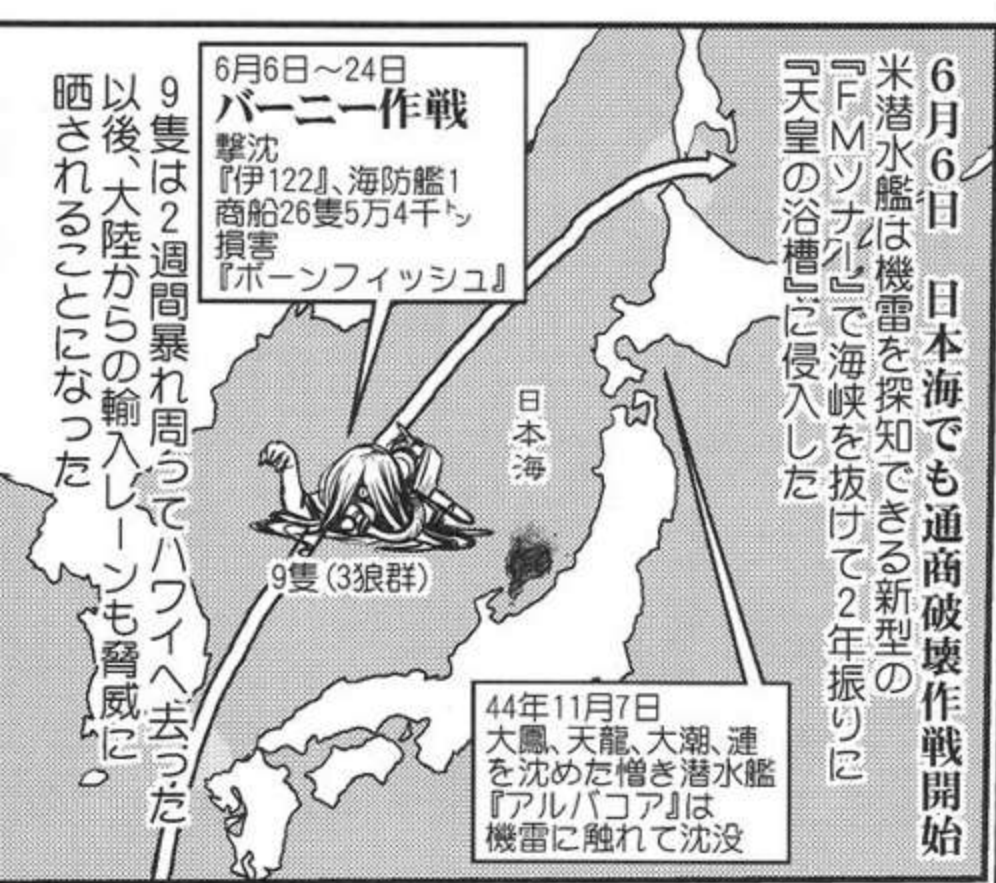
自治を認めていた隣の仏印は
日本の敗勢が明らかになるに従い
反抗の兆しが生じたため
3月9日南方軍はインドシナの独立を
建前にクーデターを起こして占領した

木村兵太郎方面軍司令官は
迫る敵に動揺して体が震え
司令部の後退を計ったが
強硬派の田中新一参謀長
に猛反対された

司令部は
ラングーンに踏み留まり
破綻に瀕した軍の精神的
中心の存在になるべき

4月23日 木村は田中の留守中に
分断された日本軍と在留邦人を
そのままに仏印の南方軍へ脱出した
これは『木村の敵前逃亡』
と呼ばれる





日ソ中立条約を元に抗議すべき
この声が上がるとソ連を刺激する
ことを恐れ政府はこれを黙殺します

さらに交戦中のアメリカとソ連に
極東方面でも連携の疑いがあり

日本は宗谷海峡も
機雷封鎖していたが
中立条約のため
ソ連船が通れる
深度に設置せざるを得
なかつた

ソ連船はヤルタの密約に応じてアメリカ
から着々と対日参戦の物資や燃料を
運び込んでいた

アメリカのレンドリース法によるソ連
支援太平洋ルート

満州

ウラジオ
ストック

宗谷海峡

総力戦研究所
『テートの決断
昭和16年の敗戦』

最初にさしを投げたのは
軍需省だった

物が入ってこない
物資動員計画など
立てられない

6月6日 沖縄敗北後の対応に
『最高戦争指導会議』が開かれ
その中で『国力ノ現状』が報告された

『国民生活』
秋には局地的に飢餓状態
配給の米と塩も底を尽き
危機的な状況となる

『物的国力』
工業は相当部分
運輸休止

『輸送力』
汽船は今年中に皆無
鉄道輸送は半減

これは鈴木首相が指示して
率直に纏めさせたものだった

会議では戦争目的も変更された

『自存自衛と大東亜共栄圏の建設』から
『国体護持と皇土保衛』となった

2日後の8日
御前会議で裁可された

『国力ノ現状』に衝撃を受けた
木戸内大臣はソ連との和平交渉を
早く進めるため天皇自ら
親書を認めるよう奏上した

すみやかに
着手するようにせよ

陸軍
受け入れられない
修正を要求する

修正は出来ませんが
原因を生産意欲と
敢闘精神の不足と
書きましよう

内閣

支那総軍の戦力は
米軍8個師団と
一會戦行う分しか
ありません

翌9日 中国視察から戻った
梅津参謀総長が奏上した
『大陸百万の日本軍』の
實力は天皇を
驚かせた

海軍では米内大臣が4月に
連合艦隊、鎮守府、護衛艦隊など
全てを一つにまとめた
『海軍総隊』を創設

豊田長官を
軍令部総長に転任させ
小沢治三郎に最後の連合艦隊
司令長官と兼任させた

ただし司令官が小沢の
前任(先輩)になる南東
南西方面艦隊は除外

しかし海軍総隊に
まともな水上戦力はなく
重油も尽きているため

『蛟龍』(甲標的丁型)
26.3m 18ノット 5名
魚雷2 110隻

『海龍』 224隻
17.3m 9.8ノット 2名
魚雷2 爆薬600kg(特攻)

軽油とバッテリーで動く
小型潜水艦を4、5月から
本土決戦用に量産した

6月18日 和平派の木戸が辞めるといふ噂を聞きつけた阿南は宮中を訪れた

降伏するにしても本土決戦後が有利になるとにかくあなたは辞めてはいけません

陸相が本音を話してくれた：ありがたい

6月22日 好機と見た木戸は異例の天皇召集による『御前会議』を開いた

和平を速やかに実現するよう努力するように

事は慎重を要します

慎重のあまり時期を失すことのないよう

天皇はハッキリ意思を示し驚くことに各員に意見を求めた鈴木と米内が賛意を表明した

天皇が和平を表明したことは以後内閣の強力な後押しとなった

その後も天皇は和平交渉へ発言を続けた

7月3日対ソ交渉はどうなっているのか

7月7日腹を探ると言っても時期を失してはならぬ



6月3日 『菊水9号作戦』大本営は菊水作戦を『敵に多大な損耗と出血を強いて本土侵攻計画は1ヶ月遅れた』と総括した

ハルゼーが早速九州を攻撃しろと命令だカミカゼも散発的になった

1~8日 海367(特23) 陸71(特31)

損失 海軍20 陸軍55 悪天候が多く特攻も少ない

6月25日 機動部隊 南九州空襲

日本の5月までの天号作戦戦果判定

『撃沈破』	戦艦	5
『沈没』	空母	25
『駆逐艦』	巡洋艦	29
『駆逐艦』	駆逐艦	92
『艦船』	船舶	203

『沈没』 駆逐艦1 『駆逐艦』 駆逐艦1 『艦船』 艦船3

地上での32軍最後の抵抗はバツクナーの掃討戦という予想を大きく超えた激戦となり

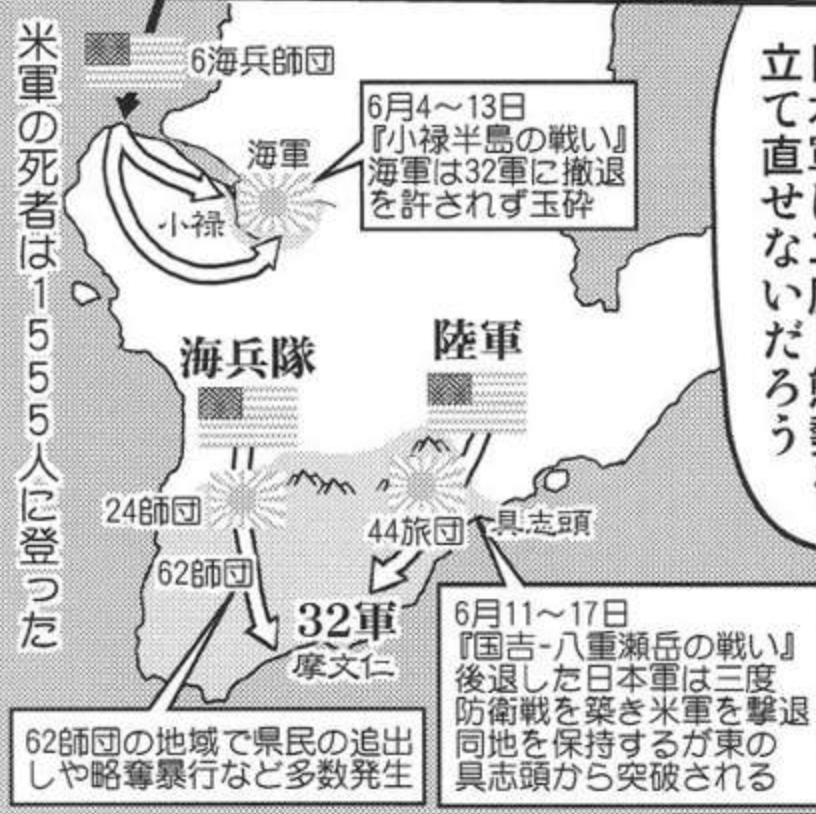
ウシジマはバスに乗り遅れた日本軍は二度と態勢を立て直せないだろう



6/18日本軍の砲撃でバツクナー戦死

6月11~17日 『国吉-八重瀬岳の戦い』後退した日本軍は三度防衛戦を築き米軍を撃退同地を保持するが東の具志頭から突破される

6月4~13日 『小禄半島の戦い』海軍は32軍に撤退を許されず玉砕



米軍の死者は1555人に登った

62師団の地域で県民の追出しや略奪暴行など多数発生

海軍部隊は上陸してきた米軍に自軍死者と同程度の死傷者を与える善戦の末に玉砕 6月11日 大田実少将は自決 沖縄県民かく戦えり 県民に対し後世 特別の御高配を



6月21日 『菊水10号作戦』

沖縄が陥落したのでこれで作戦終了となった

被害は最後まで続いた

特攻機は強力な爆発で吹き飛ばすしかないと考えた米英は対空ミサイルの開発を急いだ

16~22日 海271(特67) 陸(特15) 損失は 海軍56 陸軍15

『沈没』 駆逐艦2 上陸艇1 『駆逐艦』 駆逐艦3 艦船4

八原は連絡手段がなくなる最後の最後まで部隊の細かい指揮を続けた 事ここに至ったがいつか作戦の分かる者が見て理解してくれるだろう

八原ア オレはまだ自決しなくていいのか?

長は総攻撃失敗後はやる気を失って酒浸りだった



6月23日 米軍はついに南岸 摩文仁の丘まで到達した

牛島司令官 長参謀長は自決 沖縄の組織的抵抗は終了した

最後の2週間『鉄の暴風』は軍官民が混在する場所を襲い 島尻地区は阿鼻叫喚の地獄となった 民間人9万4千人が死亡 沖縄戦全体では県民12万人が死亡した

ルソン島

山下は沖縄戦に飛行場を使わせないという一つ目の目的を達し 敵を縛り本土侵攻を遅らせるという次の目的のため大山脈の複郭陣地へ部隊の集合を命じた

『オリオン岬の戦い』 6月11~15日 侵入した米軍に分断された残部隊で最後の総攻撃 援軍を諦めた北岸の103師団も南下し参加するが撃退される

『キアングンの戦い』 6月~終戦 14方面軍の最終陣地 イフガオ族という首狩族5000が住む地に日本軍5万が立て籠もり飢餓地獄となる



キアングンへは米軍も攻めあぐなく



キアジガシへの国道は軍関係者と手荷物だけの在留邦人が長い行列を作った

増水したラムツト川では追いついた米軍の無差別攻撃で渡河を待っていた2千名が全滅する悲劇が起きた



岩陰や洞窟には必ず日本兵がいる彼らはここで死ぬまで戦うのだらうな...



外周の国道から日本軍拠点へは幅1mの『土人道』しかなく豪雨で泥濘むうえ晴れると爆撃が橋や道を吹き飛ばし米軍の追撃は停滞した

第5空軍がジャップの味方をしやがるから進めない

海軍が最終決戦と位置づけた『天号作戦』は終わった
残るは陸軍の本土決戦『決号作戦』である



しかし『国力ノ現状』を見る通り秋以降は国家運営が破綻し戦争を続けられない事は陸軍も分かっていたそれでも阿南や梅津など穏健派でも『無条件降伏』は受け入れられず本土決戦の決意を固めていた

軍隊とは犠牲を顧みず目的を達するための組織で陸軍内は『聖戦完遂』が主張されていた妥協や手打ちは政治家の仕事である

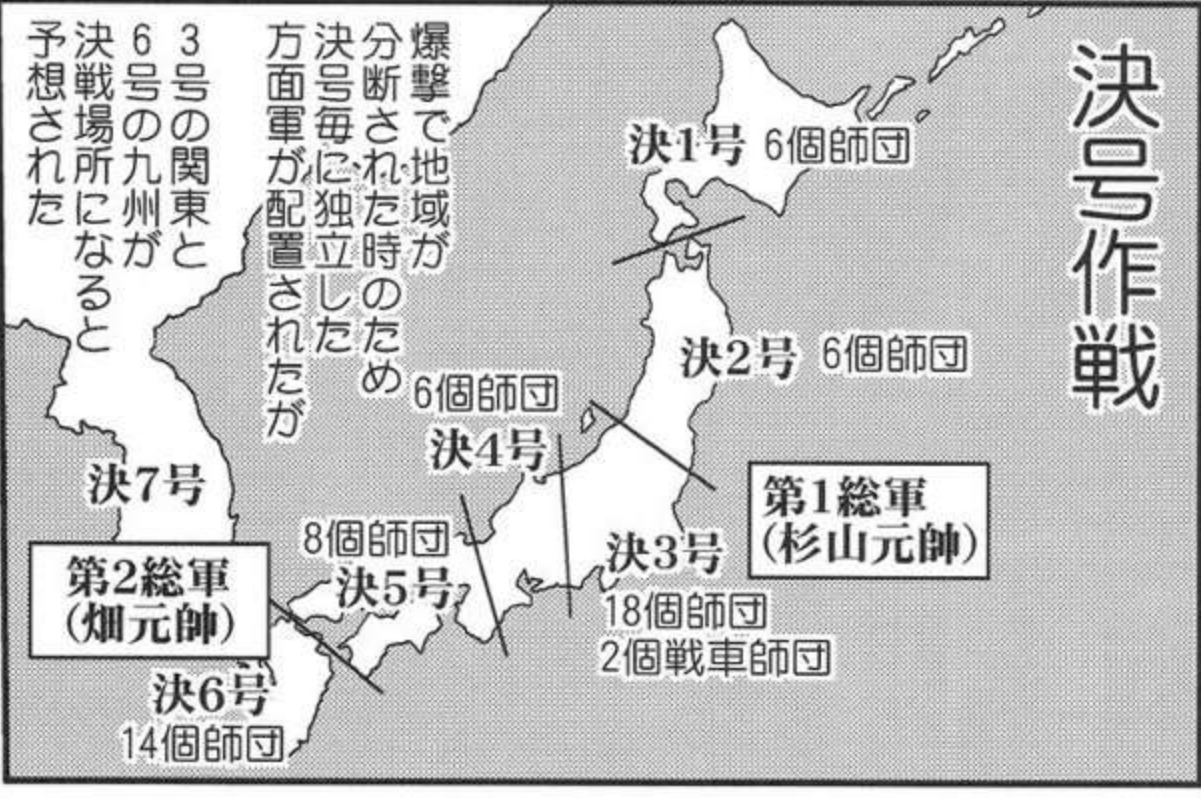
本土決戦は沖縄のような住民を巻き込んで国全体を戦場にするような戦いではなく

海岸部の一回の戦いでケリをつける短期決戦だった

これは『絶対』でありいかなる状況でも一歩の後退も許さない

総軍司令官もその場で死ぬ事になっていた

勝てば終戦交渉で条件を勝ち取り負けて米軍に突破された時は陸軍は『無』になっているのでその時は政治家が無条件降伏でも何でもやればいいという考えだった



決号作戦は特攻、特攻、特攻である

敵機動部隊が上陸部隊を伴って現れたらまず陸軍1万機が切れ目なく特攻隊を繰り出す

艦砲射撃に近づいた艦隊には海底から『回天』『海龍』『蛟龍』8百隻空から『ケツト機』『桜花』などが次々特攻する

部隊を乗せた輸送船が近づいてきたら『震洋』『マルシ』などのモーターボート3千8百隻が特攻する

上陸部隊が舟艇で海岸に押し寄せたら潜ませた『伏龍』が次々と自爆攻撃する

あまりにヒトイ兵器のため開発者不明訓練で死者続出

敵が上陸したら『沿岸配置師団』と『国民義勇戦闘隊』がこれだけ死のうと戦線を破るまで白兵突撃して敵陣へ浸透し戦場を混乱させる

砲兵は突入を支援するが発見されると爆撃で潰されるので敵味方入り乱れる中へ一度の攻撃で全弾を撃ち尽くす

最後に混乱した敵に向かい後方に控えた『決戦師団』が全火力を動員し千5百輛の戦車と共に突撃

米軍を海岸に追い詰め撃砕するというものだった

問題は敵上陸一週間以内にこれら兵力をどれだけ集中できるかに掛かっているため膨大な輸送力が要求された

自動車1万2百台
(国内の50%)

馬47万頭
(国内の15%)

輜重用車両7万台



人の確保はすでに3月23日に『大政翼賛会』など国内団体が合併し『国民義勇隊』となつて男13歳65歳、女13歳45歳は消火活動など民間防衛に当たっていたが

6月22日にはその中から男15歳60歳、女17歳40歳が『国民義勇戦闘隊』として本土決戦の兵に動員された

学校は5月の『戦時教育令』によつて全て無期休校となり生徒は工場などに動員された

これで2800万人の戦闘員が作り出されどこに上陸されても飽和攻撃第一波の頭数だけは揃うようになった

ただし義勇戦闘隊には何も配られず武器も軍服も全て各自で用意するこされた

日本の成人はほぼ全員が軍人となつた

広島湾 呉

いいいかお前達!

来たる『決号作戦』に忠じて

6月1日付けで

水上部隊は

予備艦から現役復帰! 『特殊警備艦』となつた

沖に敵上陸艦隊が現れたら『特殊警備艦』は全艦その中に壮烈無比なる突入を行う!

各艦とも大和民族の誇りを示し悠久の大義に生きるその時に備えておけ!

いいでしょう! 艦娘は全員死ぬべきならもう言うことはないです

意地でも全弾撃ち尽くすまで浮いててやるわ

しかしこれは掛け声だけで実際には燃料や弾薬の手配は行われなかつた

日本海 舞鶴

オオオ

ああつまた民間船が機雷に!

あの辺りは掃海済んだんじゃなかつた?

17駆逐隊

雪風 初霜

おかしいですね初霜さん

米軍は接触型だけでなく磁気、センサー、水圧、音響を感応し時限装置や複数回目の起爆などを組合わせた機雷を投下した

機雷撤去は知恵比べの様相を呈し日本の対処は後手後手に回つた

機雷封鎖を逃れて舞鶴まで来たのに

こつちもバラ撒かれて毎日やることがないわね

Mk 25機雷
爆薬500kg
Mk 26、36
爆薬250kg

助平の雪風

呉や横須賀じゃ
幸運艦の夜這いで
その名を轟かせたのに

舞鶴に来てから
随分大人しくないか

あ：いえ：
大和さんも
浜風や磯風も
沈んじゃって

むしろ迷惑
掛けてるっていうか

やっぱり私
同じ駆逐隊の
艦娘を沈めちゃう
死神なのかも知れ
ないので：

ちよっ
縁起でもないこと
言わないで！



天号で生き残ったの
大分気にしてる
みたいだね

何でも磯風に
最後に死神って
言われたらしくて

響もあまり
雪風には近づかない
方がいいんじゃない

正直

気に入らない



起きろ雪風！
こっちから
夜這いに来て
やったぞ



響さん…



やめた方が
いいと思います

響さんまで
沈んじゃうかも
知れませんが…

死神なんて
有るわけ無いだろ

今残ってる艦娘は
多かれ少なかれ
僚艦が沈んでるんだ



なら私が
沈まずに

死神なんて
嘘っぱちだと
証明してやる



あやっぱり
ノーブラですね

うるふあい
やめな

響さんって
こーいう人なのか
『6駆』が仲良かったの分かるな…

ん…





どうだ
感じてるか？

かわいい…

きゃ
ちゃ
きゃ

きゃ

ちゃ
ちゃ
ちゃ



あと服がジャマ
さっさと脱いで！

棒ツ
精神注入帽！



え？
あ…ああ
カワイイと
感じました



きん
ぱ







ん...
ぐ...む...

らー
らー



かー
かー



いい子に
してたらね

ふふ

ニャー

にこにこも〜



降ゆ...雪風
ろして

おは
おは



ごほうびを
上げなくちゃ

スチビお



はっはっは
いいいい
いいいい
気持ちいい

か
か



おは
おは



いん
い匂い

ヴェ
ヴェ



さっさと...
い...色...
始まるよ
急...イキイキ...

よく考えたら
艦娘一の助平と
名を轟かせてる奴だ...
元気づける方法
間違...だ...



それじゃ響さん
今度は私の番
いいですか

これを啜えて



抱っこされたまま
私の腕の中だけで
イッチャって
くださいねー

ん
おん



ふふ...
いい眺め

旗立てちゃお

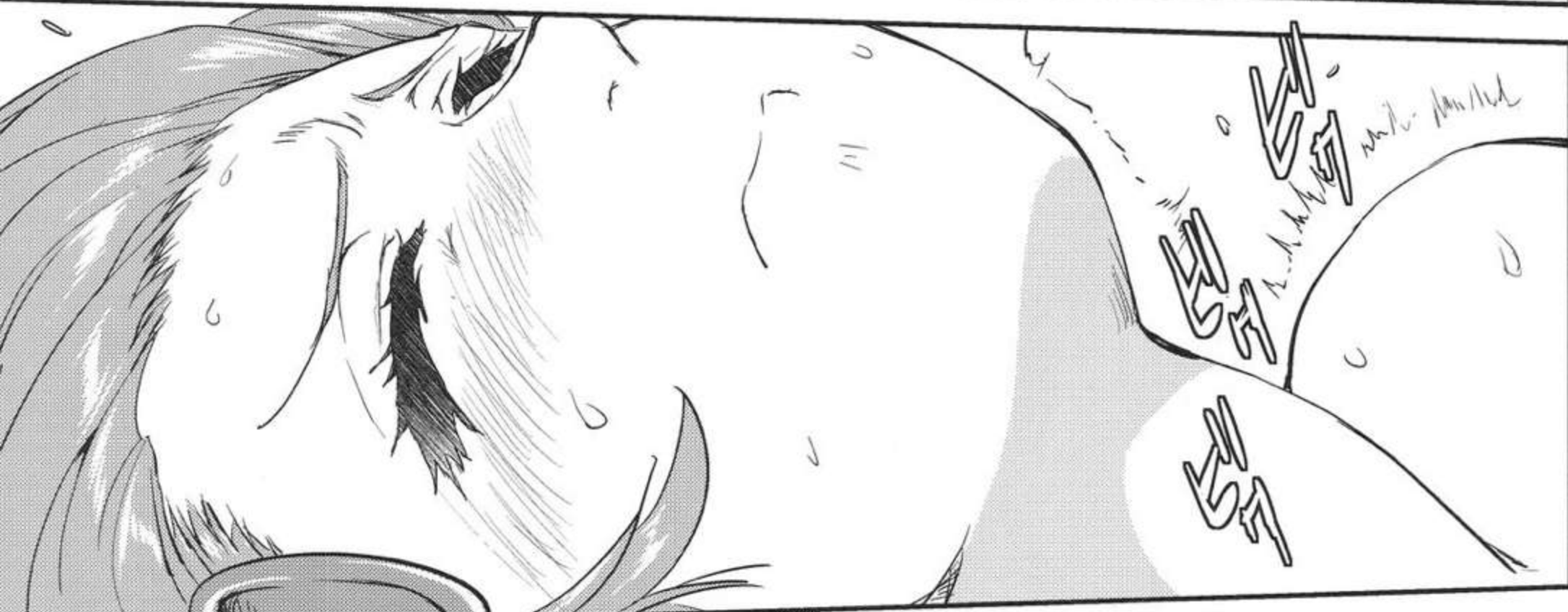


落とさず
啜えてて下さいね

ちよつと
苦しいかも
知れませんが



あ：アゴがサネに当たって立ってられない…



最後まで…
啜えててくれたんだ

あ…
ひ響さん大丈夫ですか

はー



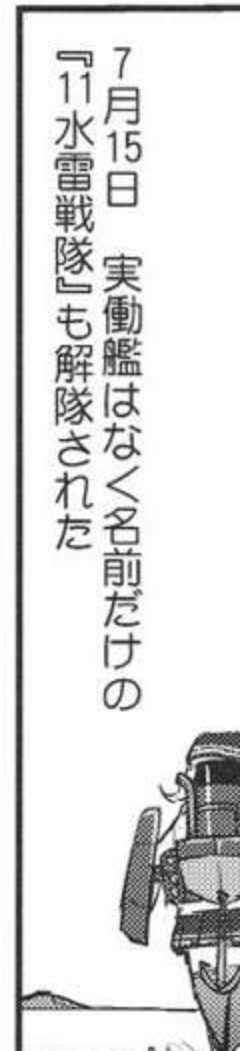
うーん
逆さまに
なった辺りから
記憶がない…



ゆ 雪風
昨日は満足
出来たか?



6月26日
『響』は舞鶴から
新潟へ移動となった
新潟港で
対空砲台
代わりだ



7月15日 実働艦はなく名前だけの
『11水雷戦隊』も解隊された

7月7日 天皇は2ヶ月経っても進展のない
広田・マリック会談に業を煮やした
親書を携行する特使の話は
どうなっておるのか

腹を探るなどと言ってないで
ソ連に率直に調停を頼むのが
賢明ではないか

7月10日 天皇の発言を受けて
『最高戦争指導会議』で近衛文麿元首相を
特使としてソ連へ派遣することが決定した

東郷は佐藤尚武駐ソ大使に近衛の派遣を申し入れる
天皇の親書を渡すよう指示した

天皇親書は
具体的な内容を欠き
近衛公の任務が
明らかでない

しかしモロトフは多忙だと会わず
代理のロソフスキーが応対し
7月18日に会談拒否を回答した

本気で終戦を望むなら
無条件降伏でも
受入れるしかない

明確かつ具体的提案が
なければ特使を派遣
しても無意味です

無条件であれば
ソ連に仲介を頼む
必要などない

ソ連に交渉の望みを託す外務省に
とっては一切を諦める味方も
手を焼く存在だった

近衛公が無条件降伏
以外ないと外務省訓令
を拒否しました

近衛君にも
困ったものだな...

何とか軍が機動部隊に
一撃でも与えて
くれぬものか...



見ろ！
一機の迎撃もないぞ
我々はどこでも
望む所を攻撃できる

7月10日 ハルゼーの機動部隊は
226機で関東の航空基地を攻撃
ルメイの『B29』地方爆撃と
並行して北海道から四国まで
日本近海を移動し
ながら攻撃を
続けた

7月14日 海軍は残る伊号潜水艦を全て
回天『多聞隊』として順に出撃させた

泊地や前線などの
危険地帯でなく
ようやく敵の後方
を自由に攻撃させた

『多聞隊』
伊53, 58, 47
367, 366, 363

7/24 『伊53』
駆逐艦アンダーヒル
を回天で撃沈

7/30 『伊58』
巡洋艦インディア
ナポリスを撃沈

特に7月30日 『伊58』が原子爆弾を輸送
した重巡ラインディアナポリスを通常
魚雷で撃沈したのは海軍最後の大戦果
と言われる



之字運動もせず
舐めてるでち！

7月16日 『トリニティ実験』
二重メキシコでブルトニウム型
原子爆弾の実験が成功した



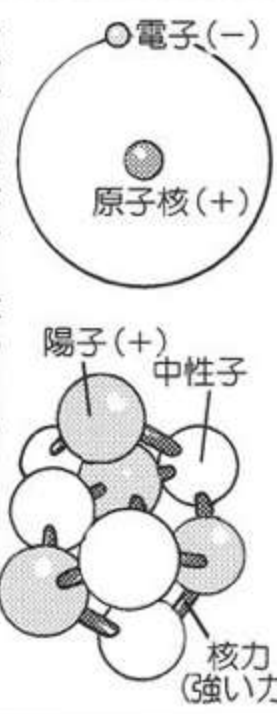
科学者達は
『爆発しない』
『TNT火薬1万8千ト相当』
『ニューメキシコ州破壊』
『大気が発火し地球を焼尽くす』
などと賭けをした

原子爆弾

この宇宙には4種類の『力』が
あると言われる

- 重力
- 電磁力
- 核力
- 強い力
- 弱い力

原子は『原子核』と『電子』で出来て
いて原子核は『陽子』と『中性子』が『核
力(強い力)』で繋がれ出来ている



原子の性質を決めるのは
『陽子』の数でウランは92個である

『ウラン』は天然原子の中で陽子が最も多く
核内のプラス同士の反発力が強いので状態
が不安定であり『鉛』になって安定するまで
化学反応を続け放射線(電磁波)を放出する
ウラン鉱石は『ウラン235』と『ウラン
238』で出来ているが『235』は特に
不安定で中性子1個を当てて『236』
にすると耐えられず分裂してしまう



分裂する際に中性子を吐き出し同時に
接点の無くなった核力の分だけ軽くなる

アインシュタインの
有名な方程式により
消えた分の重さは
エネルギー(電磁波)に
変わることになる

$E=MC^2$
重さとはエネルギー
が集まって出来た
ものである

放出される『電磁波(エネルギー)』とは
放射線であり、光であり、熱である



1個の中性子を受けた原子核が分裂して
2、3個を出すなら無限連鎖が起る
ウランの量が多ければわずかの時間に
もの凄いや量の放射線と光と熱を発生
ことになる



つまり科学者なら誰でも
ウランの核分裂の連鎖反応を利用して
爆弾を作ることが可能だと思に至る

第二次世界大戦が始まるなか主要国は
一斉に原爆開発に取り掛かったが
『仏、独、ソ』は戦争激化で停滞し
『英、米、日』が研究を進めた

理論で先行したドイツはヒトラーがた
一年で実用化の兵器以外研究を禁じた



実際に爆弾を作れるかは
ウラン鉱石に僅かしか含まれない
『ウラン235』だけを取り出すこと
（ウラン濃縮）が出来ると掛かっていた

性質は同じで重さが中性子3
個分違うだけ（同位体）である

方法としては
ウランを気体化し
何らかの方法で篩い分けした後
固体に戻すことが考えられた



ウラン鉱石

『ウラン235』は0.7%
『ウラン238』が99.3%

日本では陸軍の下で仁科教授が高さ
5mの分離筒を作り実験を行った

「U」研究

塔は二重になっていて
電熱線でその隙間に熱気流を
生じさせ重さの層に分ける



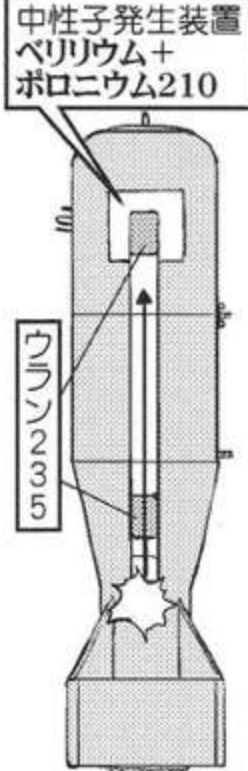
熱拡散法

しかしこの方法では分離不可能で
空襲の激化もあり研究は行き詰まった

アメリカは気化したウランをイオン
化（磁化）させた上で巨大な電磁石の
中を通じ軌道のズレを利用して分離
回収に成功した

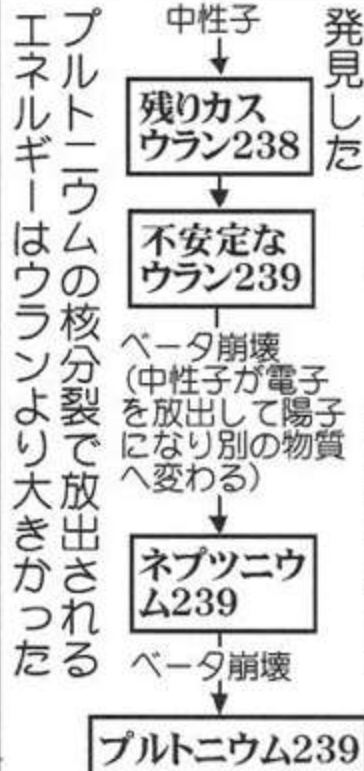


次の問題は原子核がものすごく小さい
のでそのままでは中性子が命中しにくく
連鎖反応状態（臨界）を起こすには圧縮し
て原子核の間隔を狭める必要があった



『235』は爆発でお互いを衝突させる
ことで『臨界』が可能となりこれに
最初の中性子発生装置を組み合わせた
これが広島に投下されたガンバレル型
のウラン型原子爆弾である

さらにアメリカは『235』を取り除いた
大量の残りカス（劣化ウラン）に中性子を
当てて崩壊させると再び分裂しやすい
『プルトニウム239』になることを
発見した



これは原爆を量産できる大発見であり
アメリカの研究者達は共同研究の
イギリスへの情報提供に制限を掛けた

イギリスもちょうど
独自に研究しようと思
っていた所ですよ

チャーチルを
追い詰めるのは
良くない

しかしルーズベルトは全ての共有を命じ
使用まで協同する密約を結んでイギリス
の疑念を取り除いた『ハイドパーク協定』

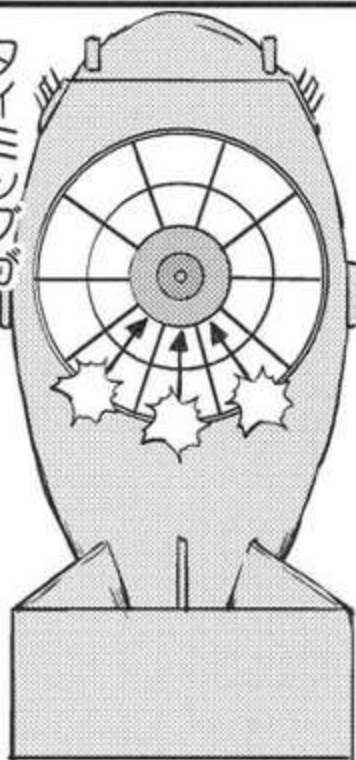


プルトニウムでは衝突で連鎖反応が
始まるレベルにまで濃縮すると勝手に
連鎖反応が始まる危険性があった
ウランと同じ方式では
輸送中に起爆する
可能性がある

我々イギリスには
火薬の権威があるので
高度なコントロールが可能だ

そのため輸送中は安全な濃度にして
爆発の瞬間にだけ強力に圧縮して
中性子を当てる必要があった

これには丸い爆弾の全周に小型爆弾
を仕掛けて同時に爆発させる『爆縮』
という方法が取られた



タイミングが
非常にシビアなため一度だけ
実験が行われた（トリニティ実験）

これが長崎に投下された爆縮型の
プルトニウム型原子爆弾である

実験は成功した

爆発に立ち会った技術責任者の
科学者オッペンハイマーは
ヒンドウ教の一節を思い出し
「我は『死』なり
世界の破壊者なり」

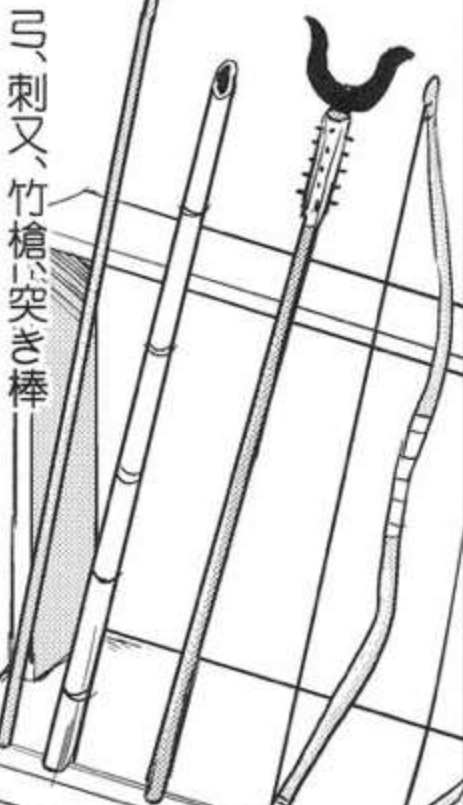
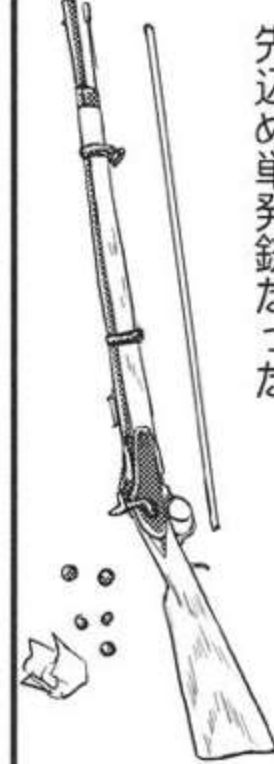
「我は『死』なり
世界の破壊者なり」



7月25日 同頃日本では
余りにも対象的な場面が生じていた
政府の指示で
『国民義勇戦闘隊』が
用意できる武器が
首相官邸に展示され
閣僚達が見学した



最も近代的な武器が戊辰戦争の
先込め単発銃だった



これはひどいな

鈴木首相

アホらしい
飯にしましょう

米内海相

具体的な戦意を
喪失させられた

迫水内閣書記官長



7月17日〜8月2日
ドイツのポツダムで
ドイツの戦後を話合う
連合軍の首脳会議が行われた



原爆実験の成功を知らされた
トルーマンはスターリンに伝えたが
反応はそつげなかつた

米国はかつて
無い破壊兵器を
手に入れました

それは喜ばしい
日本への有効活用
を望みます

トルーマンは
スターリンが驚かないことに驚き
ソ連牽制の切札になると期待した
スティムソン陸軍長官を落胆させた

会議中の26日チャーチルは首相選挙
のため帰国したが何と選挙に破れ
アトリー新首相がポツダムに戻った
不幸に見えるけど
幸運が装ってるのよ

だとしたら
随分上手く
化けたものだな!

これでルーズベルトに続き
チャーチルも大戦からリタイアした

7月24〜28日 広島湾 呉

北海道から南下しながら航空施設を
潰し続けるハルゼーの機動部隊は

空襲警報!
空襲警報!

名古屋以西に目標を移した



今や千機を超える「38任務部隊」は
前回の4倍
870機(2425日)
950機(2824日)で
呉に殺到した

なんて
数!

もはや日本に
迎え撃つ
力はなく
「榛名」
大破着底



「日向」大破着底



「伊勢」大破着底



「葛城」中破



「天城」
転覆

「青葉」大破着底



「利根」
大破着底

「大淀」転覆



「北上」大破

呉は軍港の
機能を失い

決号作戦を待たず
特殊警備艦も
壊滅した

沈没

戦艦「榛名」「日向」「伊勢」
空母「天城」「青葉」「利根」「大淀」
巡洋艦「出雲」「磐手」
駆逐艦「梨」

損傷

空母「葛城」「龍鳳」「鳳翔」
巡洋艦「北上」
駆逐艦「宵」「樺」

大切なものが
何もかも
滅茶苦茶に
壊される

呉軍港空襲



これが戦争に
負けるといふこと

ソ連は我が方の行き詰まりに乗じて利益を得ようとする無情な取引相手だ

原爆があれば参戦も必要ない

トルーマンは対日処理を米英2国だけで決定し中国には署名を求めただけソ連は中立として伝えただけだった

7月27日 『ポツダム宣言』公表

カイロ宣言に則り即時の無条件降伏を要求する

軍隊は解散され各自の家庭へ帰り戦争犯罪人は処罰される

領土は本州、北海道、九州、四国と我々が決定する諸小島に限られる

国民の自由意志によって平和的政府が樹立するまで占領する

言論、宗教、思想の自由と基本的人権の尊重を確立させる

譲歩や猶予の余地はなくこれ以外の選択肢は迅速かつ完全な破滅のみである

日本降伏まで後19日

7月30日 ハルゼーの機動部隊は次に舞鶴も79機で空襲

日本海まで空母機が来るなんて

早く隠れなきゃ

私達だけでも戦いましょう

艦隊泊地の宮津湾

最後の戦闘で

『雷風』は1機を撃墜

やった!

『初霜』は空襲を回避中に触雷で沈没

他に海防艦『沖繩』沈没 複数の艦船が損傷した

7月28日 ソ連の仲介を待っている政府は記者会見を開き『ポツダム宣言』は黙殺すると発言した

内容はカイロ宣言の焼き直しである

しかし外国ではライグノア(無視)や『リジエクト(拒絶)』と翻訳された

東郷は佐藤大使に『ポツダム宣言』の意図をソ連から聞き出すと共に特使の受入れを重ねて催促した

近衛特使は大きな権限を持っている

ソ連は米英に和平打診を伝えたのか?

ソ連の態度は明白今更スターリンを平和の提唱者に祭り上げて効果はない

アメリカでは沖縄戦終了の6月以後本土侵攻の話合いが続けられていた

九州上陸ではルソンの死傷3万1千を超えることはない(マーシャル)

ルソンと沖縄の間くらいではないか(キング)

沖縄の死傷は35%だ九州上陸76万で考えると27万になる(リーヒ)

戦争で犠牲は避けられないこれは憂鬱な事実だ(マーシャル)

日本の人口7700万の半分3000万が沖縄のように戦えば史上例のない悲惨な戦いになり国家は破滅し天皇は自決するでしょう(マクローイ陸軍次官補)

日本人は最後まで戦うドイツも爆撃では降伏しなかつた最後まで戦わせる以外ない(マーシャル)

『オリンピック(九州)』と『ココネット(関東)』には500万の兵が動員され死傷は100万が予想される46年秋の降伏予定も遅れる可能性はある(スティムソン)

天皇制を排除しないと伝えれば降伏勧告に効果がある(スティムソン、フォレスト)

我々は降伏を願う立場ではない日本が自ら破滅か降伏を選べばいい(マーシャル)

『アメリカの大統領トルーマン』にとってアメリカ人100万の死傷と原爆投下の選択で迷いはなかつた

迷ったかつて? とんでもない

原爆投下はこうやって決めたんだ

戦後トルーマンはこう言っていた

7月27日 軍事的効果は高くはない地方爆撃を続けていたルメイは国民の厭戦気分を狙い空襲予告ビラを撒き始めた

27日、8月1、4日の3回に分け全国32都市に撒かれた

ルソン島



ルソン戦は終わり掃討の段階に入った



7月5日 マッカーサーはルソン島の占領宣言を行う



移動に使う土人道は人間の糞尿と死体で最悪の状態となっていたが我慢して通るしか無かった

私は日本は戦争に負けたと思う

アメリカに要求できるのは天皇の生命の安全だけだろう

誰も反論しなかった

だが9月中には全員餓死することが現実となり山下は参謀を集めて意見を求めた

意見述べる前に完全な発言の自由を認めて欲しい

「ある言葉」を口にしたら途端に撃ち殺されてはたまらない

何でも言ってみろ ここは東京じゃない

栗原中佐

武藤参謀長

遊兵が襲って来たら撃ち殺せ

近いな誰か持ち物を取ってこい

栄養失調とマラリアが全軍を襲い絶望した日本兵が自決する銃声や爆発音が毎日数発響いた

それでもフィリピンは文明人が住む地域だったので略奪できる集落や田畑があった

7月末で数万の兵が持ち堪えていた

5月5日 ウエワク陥落

アイタベ

高原地域

18軍

セピック方面から数千人が自活出来るという情報も移動困難で断念

ニューギニアでは原住民と共生しすつかり抵抗力をなくした1万程の日本軍に対して豪軍の攻勢が加速していた

戦死と餓死で残5千となり安達二十三軍司令官はこれ以上転進せずこの場で玉砕することを決定した

後退し食糧事情は再び悪化

「18軍」は集落から山中へ

結局山下と武藤が出した結論はここで玉砕はせず食料の豊富な北東へ総攻撃を掛けて包囲を突破しその後には分散して各自がゲリラ戦を続ける『自給自戦』体勢への移行だった

ゲリラ部隊へ

部隊の突破を見届けたら2人はこの場で自決することに決めた

突破準備をしている内に終戦となった

尚武軍団15万2千は80%が死亡した

ニューギニア

8月 18軍は最後の擲弾筒と弾5発で反撃し小銃しかないと思っていた豪軍を驚かせた

狭い地域に包囲され『ハンザイ突撃』を数日後に控えた時終戦となった

その後は軍服を捨てて土人として奴らと暮らそうもうそれでいい...

8月いっぱい頑張れと指しています

それならそうするか

お前達コックリさんかいつまでこうしてればいいかも聞いてくれ

最後に人間の食べ物を食べて1年以上になる

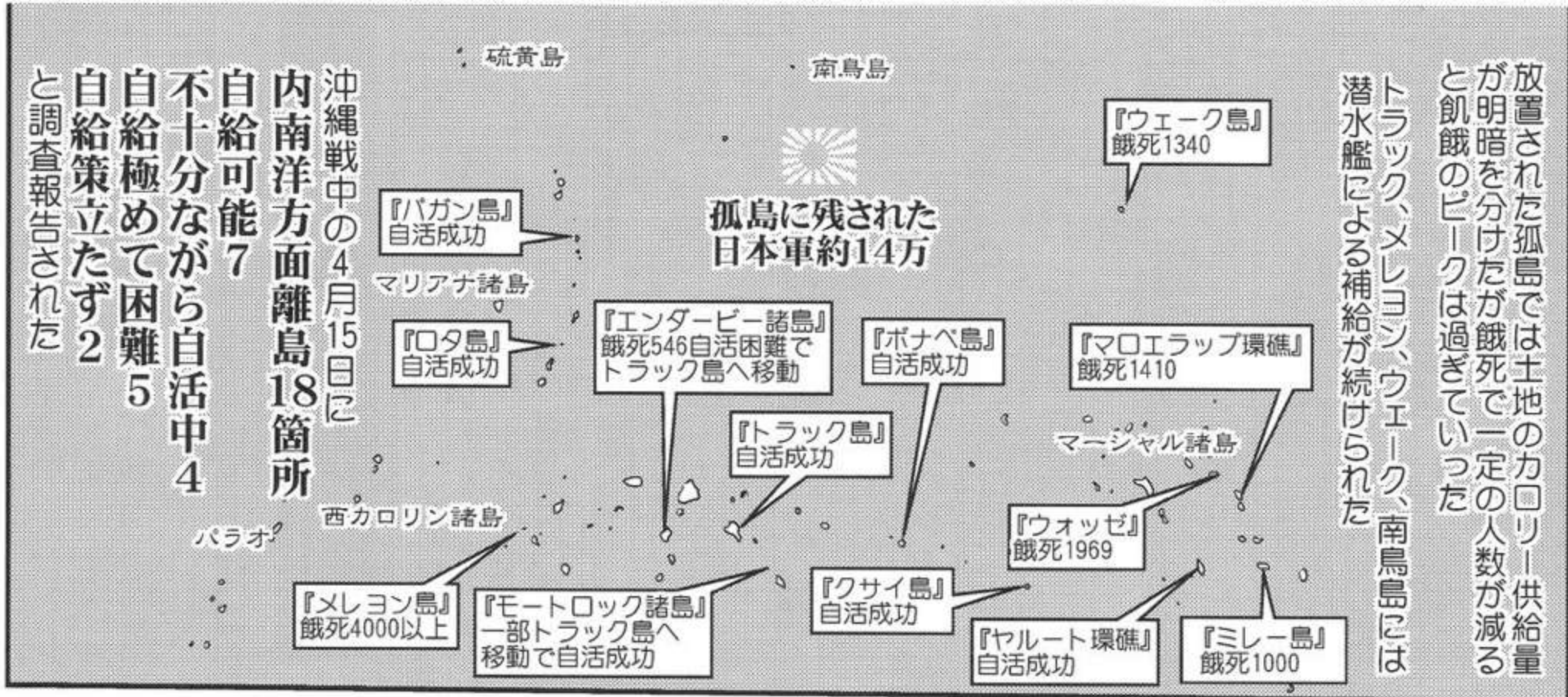
もう生きてるのはたくさんだ...

18軍の日本兵はすでに数年間ジャングルで暮らし援軍の望みも失い戦争がどうなってるかも知らなかった

内南洋方面

放置された孤島では土地のカロリー供給量が明暗を分けたが餓死で一定の人数が減ると飢餓のピークは過ぎていった

トラック、メレヨン、ウエーク、南鳥島には潜水艦による補給が続けられた



マーシャル諸島の日本軍は新人パイロットの訓練の生きた標的にされた

45年になるともはや反撃も全くなかった

ミレー島では爆撃からは逃げ回るだけで撃ち合いは潜水艦での補給を隠しているか疑う
陸軍と海軍の間で行われた
こんな戦いは戦争でも何でもない

マロエラップ島では終戦近くになると見かねた米軍が爆弾でなく補給物資を投下するようになった

毒かもしれないぞ
俺は食ってから死ぬ
オイ 食えるぞ!
以後日本兵はアメリカ力の爆撃の時間を待ち焦がれるようになった

8月1~5日 ソ連待ちで無為に5日間が経過する
この年は冷夏となり秋の凶作が予想された

8月6日

広島へウラン型原子爆弾『リトルボーイ』投下

熱で膨張した風速440mの空気は市の20%1万5千戸を瞬時に吹き飛ばした

軍部は通信の途絶えた現地にただちに調査団を派遣し『二〇研究』主任教授も現地へ入った

アメリカめ何てひどい爆弾を落とすやがる

これは原爆だ 間違いない

我々は腹切りもんだ

8月8日 東郷外相は佐藤大使に重ねて交渉を促し阿南陸相と戦争必敗との会談を行った後上奏した

これを転機に戦争終結に決すべきです

天皇も動揺を隠せなかった



そのような兵器が使われる以上
もはや防御も不可能だ
有利を待たず
終結を首相へ伝えよ

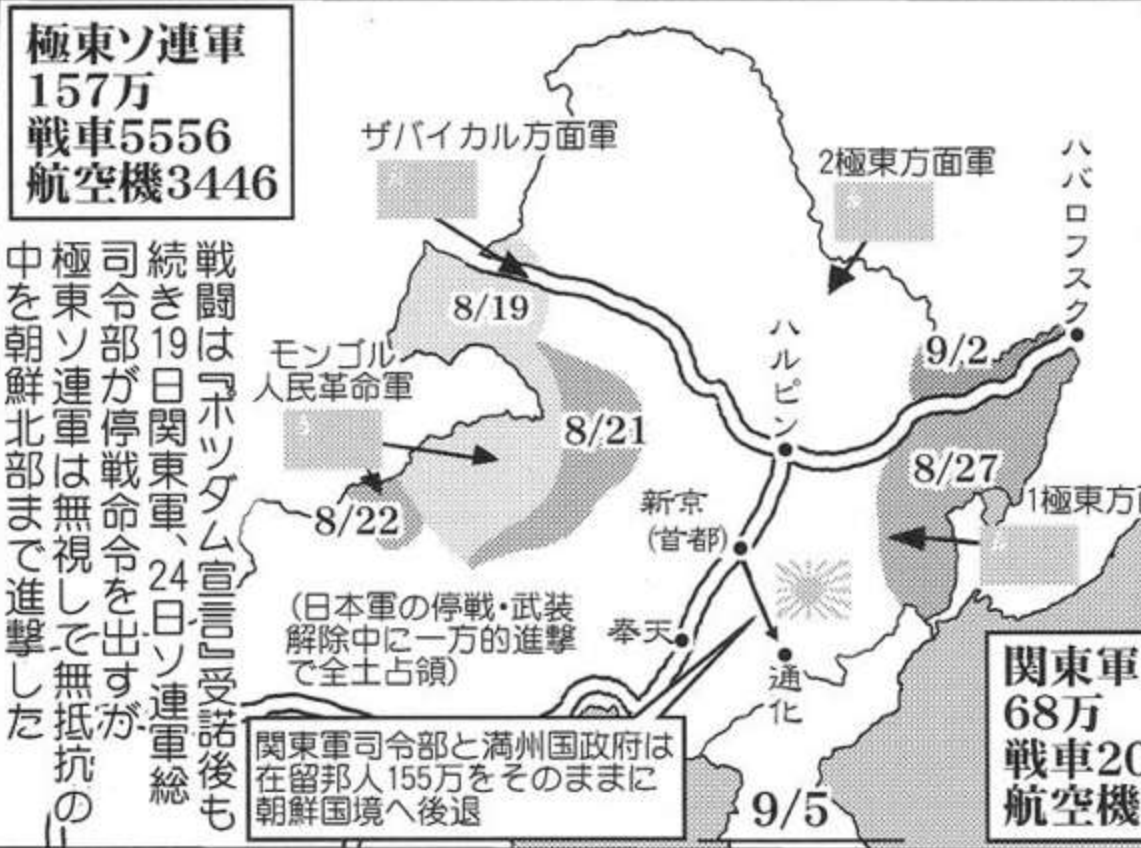


同8日23時 ソ連ではようやく外相モロトフが佐藤大使を会談に呼んだがその場で『宣戦布告文』を読み上げた
連合国から日本の侵略戦争に対して参戦の提案があり
ソ連は連合国への義務から『ポツダム宣言』に参加する



あなたはこのように結果になり
私も残念です
中立条約の期限切れ1年も前に破棄は不服です

8月9日 2時間後、国境に集結していたソ連軍は一斉に満州へ雪崩込んだ



戦闘は『ポツダム宣言』受諾後も
続き19日関東軍、24日ソ連軍総
司令部が停戦命令を出す
極東ソ連軍は無視して無抵抗の
中を朝鮮北部まで進撃した



大本営は国民の動揺を防ぐため原爆の詳しい報道を禁じ『新型爆弾恐るるに足らず』という姿勢を崩さなかったが
ソ連の参戦は一大衝撃を与えた
アメリカだけを相手に最後の決戦というシナリオが崩れ去ったのみならず
そもそも満州権益のため戦争しているのである

同日 天皇の要請を受けた『最高戦争指導会議』が開かれた



……
しかし始まって5分間誰も発言しなかった
黙っていてもしょうがない
日本は負けたんだ



負けたとは何だ
取り消せ!
戦局は五分条件の緩和がなければ終戦は不可能だ
阿南陸相



8月9日 長崎
『プルストニウム型原子爆弾』
会談では何も決まらず話し合いの場を閣議に移した時2発目の原爆投下報告が届いた

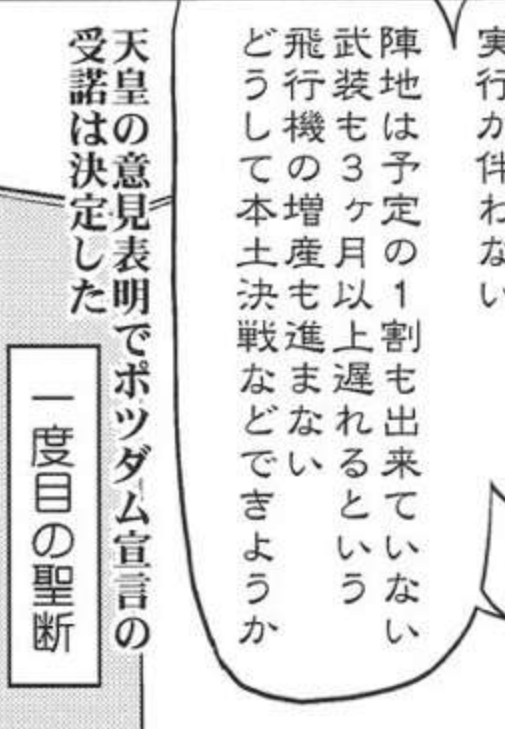
閣議は10時間に及び日付が変わっても平行線が続いた



『国体の護持
自国による武装解除と同様に戦争犯罪人処罰
占領の中止』
この4つが絶対条件だ
算盤だけで戦争は決まらない
大和民族の名誉のために
戦う内にチャンスが来る



参加者が議論に疲れ切った所で鈴木首相は続きを御前会議で行い天皇に直接意見を求めるという前例のない行動に出た
外相の意見に賛成である
念の為に理由を言っておく
陸海軍の計画はいつも実行が伴わない
陣地は予定の1割も出来ていない
武装も3ヶ月以上遅れるという
飛行機の増産も進まない
どうして本土決戦などできようか



天皇の意見表明でポツダム宣言の受諾は決定した
一度目の聖断

8月10日 モールス信号で『天皇の国家大権の変更を含まない』と了解の上でポツダム宣言を受諾すると発信され

スイスの米大使館から受信したとの連絡が来た

日本の発信については米国で討議が行われた

天皇を処刑しない限り降伏すると言っているのだからイエスと言ってやればいい(スチムソン、リーヒ)

我々が譲歩する必要は一切ない(ハーンズ、國務長官)

後一步で躊躇してなら踏み出させてやればいい回答を遅れ

やはり原爆が効いた米国人をこれ以上死なせずに済む

トルーマン

8月11日 バーンズの言葉を与えない表現の回答がスイスから放送された

天皇と政府統治権限は連合国最高司令官の制限化に置かれ

政府の形態は日本国民の自由意志によつて決定される

この文面で再び陸軍の態度は硬化した
「隷属化」とも訳せる
天皇大権と国体護持が保証されない限り徹底抗戦を行う

木戸内大臣は天皇の地位が国民の意志に委ねられると懸念を上奏した

少しも差支えないではないか

連合国が認めても国民が支持しないなら意味がない

阿南の元には各方面軍からも次々と徹底抗戦の電報が届いていた

大臣！辞任して内閣を潰して下さい

我々がクーデターを起こすので戒厳令を発令して下さい

8月12日 阿南は陸軍の重鎮三笠宮と梅津参謀総長に協力を求めたが断られた

悪いが俺は宣言受諾に賛成なんだ

一方、天皇の意思を知った木戸は首相官邸に鈴木を訪ねた

陸軍に不穏な動きがあります
一気に戦争終結を決めましょう

我々のうち6、7人は殺されるでしょうがそれでいいじゃないですか

よしやろう

13日も議論紛糾して結論は出ず
14日午後の閣議に閣僚が集まると首相は突然御前会議で閣議を行うと伝えた

御前会議で主要閣僚が発言を終えると鈴木は再び天皇に意見を求めた

私の意見はこの前と変わりない

軍を解散し忠臣を罰することは忍び難きなるも万人を救うためには致し方ない

深く考えた末の結論である

この際私に出来ることなら何でも行う

国民の動揺を抑えるためならマイクの前に立ち自ら告げよう

部屋には次第に涙声になる天皇の声と閣僚の嗚咽が響いた

休憩後に再開された閣議で回答文の受入れが全会一致で可決された

二度目の聖断

深夜になつてようやく閣議と手続きが終わると阿南は首相の控え室を訪れた

これまで強行な態度で総理を煩わせたことをお詫びいたします

あなたは辞表を出さず政権を支えてくださったことこちらこそ感謝しています

阿南は自宅に戻るとクーデターを防ぐため陸軍大臣のまま割腹自殺した



8月15日 7時21分

横須賀

謹んでお伝えいたします
畏きあたりにおかれましては
この度詔書を
煥発あらせられます



恐れ多くも
天皇陛下におかれましては
本日正午 御自ら
御放送遊ばされます

誠に恐れ多き
極みでございます
国民は一人残らず謹んで
玉音を拝しますように

ポニー
正午
只今より
重大なる放送があります
全国視聴者の皆様
ご起立願います

呉

朕ク世界ノ大勢ト
帝国ノ現状トニ鑑ミ
非常ノ措置ヲ以テ
時局ヲ收拾セムト欲シ
ココニ忠良ナル
爾臣民ニ告ク



佐世保

然レトモ朕ハ
時運ノ赴ク所
堪ヘ難キヲ堪ヘ
忍ビ難キヲ忍ビ
以テ万世ノ為ニ
太平ヲ開カント欲ス

舞鶴

誓テ国体ノ精華ヲ発揚シ
世界ノ進運ニ
後レサランコトヲ期スヘシ
爾臣民其レ克ク朕ガ意ヲ体セヨ

雪風
分かった？

いえ…よくは
分かりませんが
でした

戦争が終わった
ようですね

8月15日
日本無条件降伏





8月17日 陸軍大臣を失った鈴木内閣は『聖断』を仰いだ責任を取り総辞職した



皇室の形式に則って
そちらで書き直してください

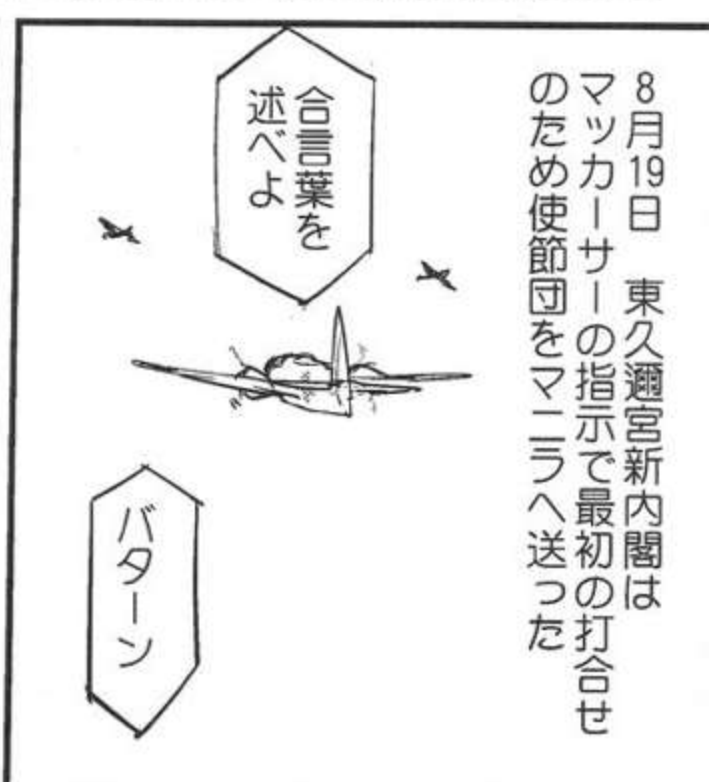
ジェネラルカワベ
天皇を貶めることは
最高司令官の目的ではない
文面は無視していい



一般人のような文面を
我慢して聞き終わると
顔を真赤にしてテーブルを叩いた

お終い！
以上です

マニラで『天皇が公布すべき文章』
を示されて訳させた
河辺虎四郎参謀次長は



合言葉を
述べよ

バター

8月19日 東久邇宮新内閣は
マッカーサーの指示で最初の打合せ
のため使節団をマニラへ送った



総司令官が先頭に立って
敵のど真ん中に入り込む
マッカーサー流の英雄演出だった

8月28日 先発の空挺部隊が厚木に
着陸し飛行場を占領すると
30日には『降伏調印式』のために
マッカーサー自身が日本に乗り込んだ



米側が
礼儀を尽くして
いると聞き涙を流した

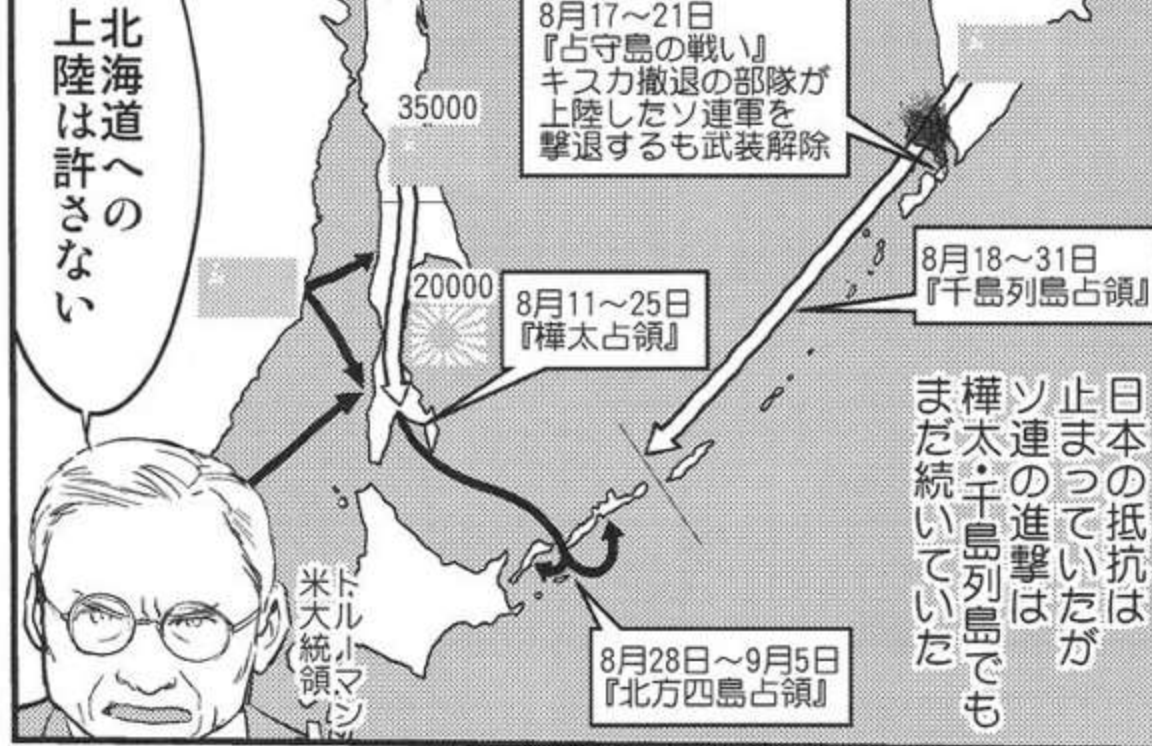
使節団がマニラで屈辱的な
扱いを受けていないか
恐れていた天皇は



戦争なんかしなくて
済んだんじゃないのか…

…何だ…話の分かる
奴らじゃないか
もっとお互い誠実に
正義と人間性を持って
話し合っていれば

到着3日目の9月2日東京湾
ハルゼーの『第3艦隊』で
『降伏調印式』が行われた



北海道への
上陸は許さない



日本の抵抗は
止まっていたが
ソ連の進撃は
樺太・千島列島でも
まだ続いていた

アメリカと中国を除いて風刺漫画に
出てくるようなブサイクばかりだ
ジャップの目に何と映ってるやら

しかしヒネガー(辛口)スタイルウエル
の目には正反対に映っていた

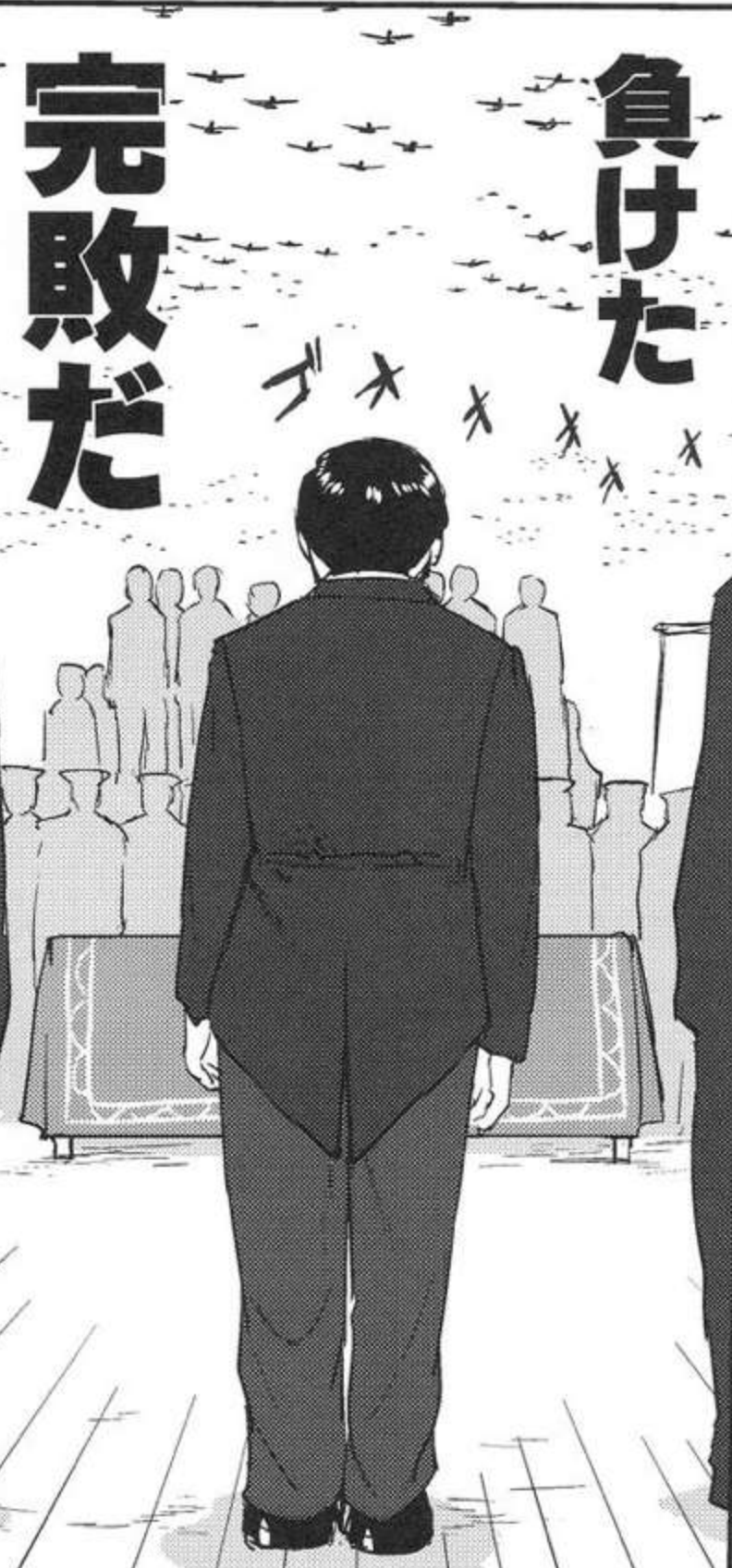
日本はこれ程の
国を相手に
戦っていたのか
それにしてもソ連が
居るのは許し難い！

しかし海軍は豊田軍令部総長が断り
富岡作戦部長らを派遣した

貴様達の作戦で
負けたんだから
貴様らが出る
これが最後の『提督の決断』となった

皇族の首相が降伏するのは
望ましくないのだから
日本の代表は
重光外務大臣になった

『戦陣訓』で
兵士に降伏より
死を選ばせてきた
軍中央にとって
降伏式に臨むのは
恥辱だったが
陸軍はトップの梅津参謀総長が出た



ビル(ハルゼー)
飛行機はどこへ
行っちゃったんだ

マツカーサーは演説中に上空を
大編隊が飛ぶように予定していたが
タイミングが合わなかった

加瀬秘書官はマツカーサーの演説に
衝撃を受けていた

寛容と正義……

もしも立場が逆だったら
我々は同じことが言えただろうか

マツカーサーは現れるとマイクの前に立った
第二次世界大戦を締めくくる演説の始まりに
全員注目が集まった

我々が今日ここに集まったのは
不信や憎悪のためではない

勝者も敗者も平和の回復という
神聖な目的に奉仕するために
集まったのである

だがマツカーサーは多弁せず
シンプルに5分で終わらせた

私を含む全人類の願いは
これまで流された血の中から
信頼と理解に基づいた
より良い世界が生まれ
人間の尊厳と自由、寛容、正義
が達成されることである

復員と引揚げ開始

すぐに連合艦隊の残存艦と米国の輸送船で

軍隊と邦人の引揚げが始められた

最初は

ニューギニアだ

一刻も早く

行ってくれ!



西カロリン

ビスマーク海

ソロモン海

この辺り

ガァァァ

夜間に命懸けでしか通れなかったのに...



どこまでも行ける! 何の恐れもなく

飛行機も潜水艦もやっけて来ない

あはははは

平和な海って何て素晴らしい



なんて...すばら...ああああ



あああああ

うわあああ

雪風はニューギニア1回、ラバウル2回など合計15回の復員任務に当たった



中国では国家統一を目指す

『国民党』と『共産党』によって

日本人は武器だけ残して消えて

くれればそれでいいので

軍民154万の

武装解除と

復員は円滑に

進められた

怨みに報いるに徳を持ってせよ!

この演説も多くの日本人を感動させた



満州では逆にソ連によって関東軍60万が全てシベリアの強制労働に連行された

『2キ3スケ』ら

満州実力者と組み

巨額の阿片資金で

謀略を担当し

『満州の夜の支配者』

と言われた関東軍

甘粕正彦大尉は

自殺した

大バクチ

元も子もなく

すってんてん

(甘粕の辞世の句)

シベリア抑留地帯

満州

日蓮宗原理主義者天才『石原莞爾』がまずソ連を制し、続いてアメリカと火種の覇権をかけて『世界最終戦争』を行うと夢を託した満州と関東軍は丸ごとソ連の捕虜となって終わった



新内閣による臨時議会では最後の陸軍大臣『下村定』大將が涙ながらに国民に謝罪した

有史以来未曾有のこの敗戦と惨状を招いた原因は全く軍人がその本分を誤りみだりに政治に関与した為である

ここに衷心より国民諸君にお詫びする

しかし事ここに至っては、いかに私がお詫びをしても償うことを得ない

誠に何とも申し訳がない

12月1日

陸軍省は『第1復員省』に

海軍省は『第2復員省』となり

日本の軍隊は消滅した



積み上がった戦費問題も残っていた日本は膨大な戦費を特別会計に分離し、日銀と国民の国債購入で賄っていた

敗戦での精算で国家財政は破綻すると考えられ、国債は暴落し、戦前前の350倍という猛烈なインフレが発生した

しかしそれは同時に国の実質の借金負担が350分の1になることを意味していた

従ってインフレはそのままに過剰に出回っている国債と通貨量を減らすことで通貨の信用回復が計られた

46年2月26日政府は『金融緊急措置令』を公布し、突然全銀行の預金を封鎖した

同時に新通貨を発行して旧通貨の使用を禁じた上で、新旧交換に月額の上限を設けて強制的に流通量を安定させた

46年2月26日政府は『金融緊急措置令』を公布し、突然全銀行の預金を封鎖した

同時に新通貨を発行して旧通貨の使用を禁じた上で、新旧交換に月額の上限を設けて強制的に流通量を安定させた

溜まっていた民間企業への支払いには10割の税金を掛けて払った上で回収し、借金を消した

次に個人の財産に9割の税金を掛けて国債と預金封鎖している旧通貨で払わせ両方を回収した

反則に近い力技だが戦時中から日本人が国債を買う限り財政破綻はない」と説明してきた通り戦費を精算した

しかし対外的には元々金を介して『ドル1円』だった円は戦後7年でインフレが収まった時に『ドル1円360円』で固定された

要するに軍国主義日本は明治以来蓄えた日本人の個人財産まで根こそぎ戦争につき込んでスツてしまい日本人全員を貧乏にした

10ヶ月後 46年7月1日

マーシャル諸島
ビキニ環礁

長門さん
綺麗な海ですね

サアアア

ああ
酒匂は初めてか

本当はここで艦隊決戦をやる筈だったんだ

へい！
ヤーパンナガト
お前達もか

今回はやられたね
次はイタリア抜きで
やろうや

プリンツ・オイゲン

お前達こそ次は
先に降参するなよ

THREE

TWO

ONE

ZERO

我は『死』なり
世界の破壊者なり

プルトニウム型
原子爆弾

『エイブル』
空中爆発実験

陸奥

赤城

加賀

金剛

みんな喜べ

戦争はもう
不可能になった

人類は
滅びたくなければ
仲良くするしか
なくなつたんだ

『酒匂』沈没

多くの米艦が沈没中
25日に2発目『ペーカー』
の水中爆発を浴びても
まだ浮いていた

そして29日の朝
目撃者もいないまま
海中に消えていた

長門は
浮いていた

『長門』沈没

クロスロード作戦



復員も終わり残っている艦は賠償艦として戦勝国に抽選で分けられた

ソ連だ寒そうー

私イギリス

雪風どこだった？
私はソ連だ

ガヤガヤ

中国です『丹陽(タンヤン)』という名前になるそうです

中国かこれでお別れだな

私は『ヴェールヌイ』とかいうらしい

これ一番小さいの響さんにあげます



もう会うことはないかも知れないけど

元気だな

はい響さんも



分けられた賠償艦

駆逐艦	アメリカ5	海防艦	アメリカ15
イギリス7	ソ連6	イギリス18	ソ連17
中国7	ソ連6	中国18	ソ連17
防波堤5	防波堤5	防波堤2	防波堤2
その他 小型艦船など			

マッカーサーは『朝鮮戦争』でトルーマンと対立し更迭された
末端の部下が苦しむ事を嫌がるマッカーサーの英雄としての矜持は日本国民にも適用されて占領統治は世界史でも最大の成功例の一つと言われるものとなった
日本再建に米国の人と物を注ぎ込みどっちが戦勝国か分からないと批判された

日本はもう大丈夫だ

一度自由を味わった民衆はもはや永久に自ら手放すことはない

200万の日本人が帰国を見送り東京湾に巨大なマッカーサー像を立てようという運動も行われた
マッカーサーは自分の仕事に満足し日本を去った

しかし帰国したマッカーサーの発言が伝わり日本の賛辞と熱は嘘のように消えてしまった

我々が45歳だとすると日本人は12歳の子供のようなものだ

強い者にへつらう傾向がある



51年9月8日
『サンフランシスコ平和条約』
戦時の占領状態が終了
『大西洋憲章』に従い
日本の主権が回復された

中国では『国民党』と『共産党』が日本軍のために中断していた戦いを再開していた

序盤は米式装備の部隊を持つ蒋介石が圧倒したが独裁と汚職に塗れた国民党はすでに民衆の支持を失っていた
毛沢東は蒋介石の圧政から人民を解放する『人民解放軍』を名乗った

内戦解決に送られたマニシヤルはステイルウエルの報告が正しかったことを知りアメリカが支援する相手を間違っていたことを認めた

アメリカが支援を縮小すると国民党は敗退を続け49年12月に台湾へ脱出した

蒋介石は台湾で今度は旧日本軍の将官達を顧問に招き(白団と呼ばれた)大陸再占領の機会を狙った

中華民国海軍の旗艦となった『雪風(丹陽)』は海峡での睨み合いの中艦砲射撃や拿捕で活躍した

やった！
撃沈はレイテ以来だ



59年8月 米国のレーダー&砲装備となつた雪風は共産党軍の『コルベット艦撃沈1撃破1』の戦果を挙げた

『金門島』国民党の最前線

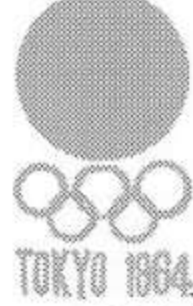


平和条約から13年

日本は主権回復直後の55年から73年まで平均10%の高度経済成長を続けていた



64年10月『東京オリンピック』開催に合わせて夢の超特急『新幹線』も開通



日本は国際社会に完全復活をアピールした

蒋介石も歳を取りいつじか大陸再占領もポーズだけになっていた

日本は焼け野原から復活したんだ良かったなあ

初桜も去年解体響さんも10年前に解体されたそうだしとうとう私だけ…



オリンピック終了から2年後の66年『雪風(丹陽)』は現役を退いた

さらに3年後 69年

練習艦として働いていた『雪風』は暴風雨で艦底を破損

アイヨウツ 痛ッ

あはは…咄嗟に中国語が出るようになった

その後は港に繋留された



1970年 駆逐艦『丹陽』以外に賠償艦でまだ残っているのは海防艦6隻、砲艦2隻だけになっていた

丹陽はもう2年もああしてるが修理しないのか

もう十分働いたし日本の新聞を読むことだけが楽しみのようなだから好きにさせてやれよ



71年12月

終戦から26年



最後まで戦闘で損傷を受けること無く

幸運艦『雪風』は解体され生涯を終えた

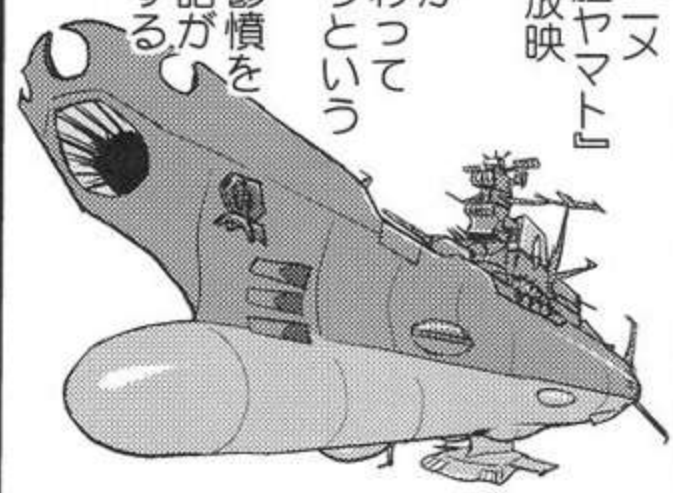


さらに月日は流れ

74年 アニメ『宇宙戦艦ヤマト』がテレビ放映

戦艦大和が生まれ変わって地球を救うという

日本人の鬱憤を晴らす物語が大ヒットする

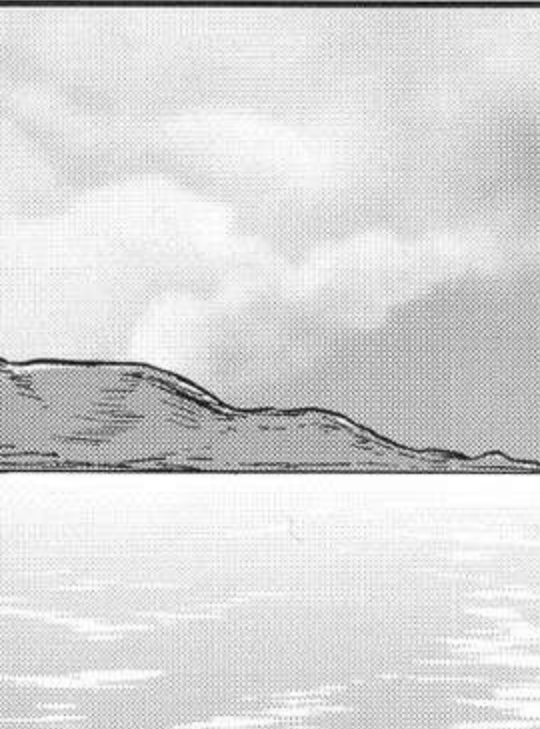


75年

第一回『コミックマーケット』が開催される



ソビエト連邦ウラジオストツク沖



練習艦『デカプリスト』
出る

長い間ご苦労
本日標的艦として
処分される

はい

あとお前が知りたが
ってた『丹陽』だが
数年前に台湾で
解体されたそうだ

同志
最後にあと一つ
お願いが

よく残してたな
そんなの

好きにしろ

スバシ1バ
ありがとう

雪風

見てるか

キラキラキラ

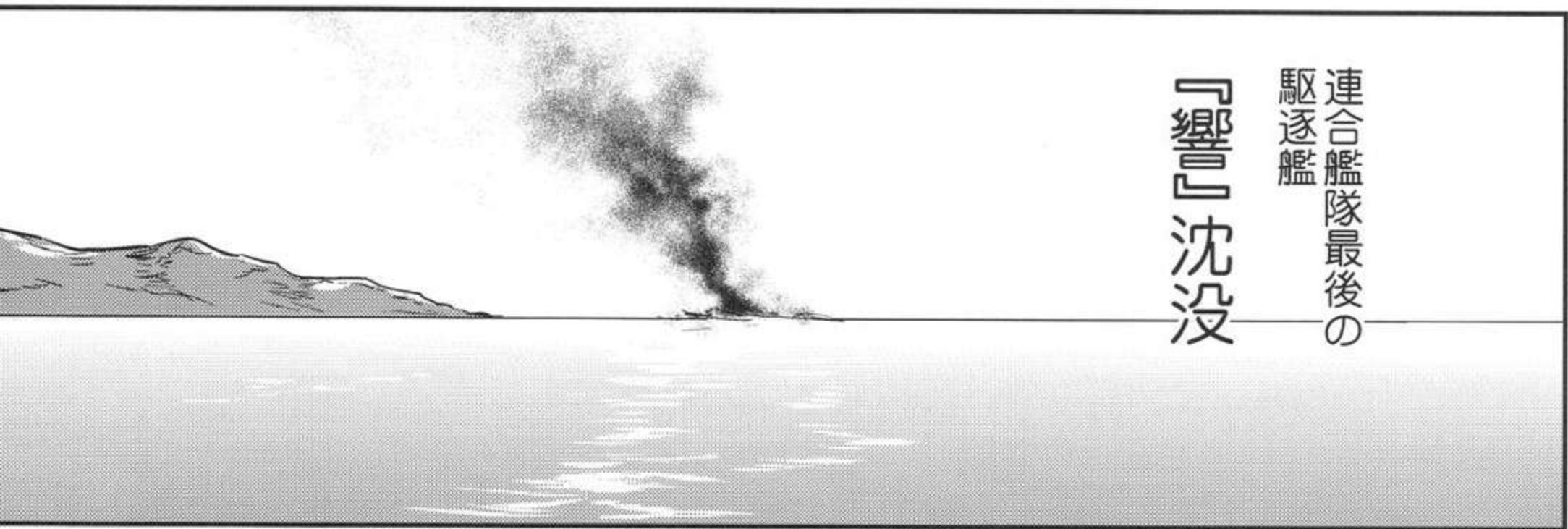
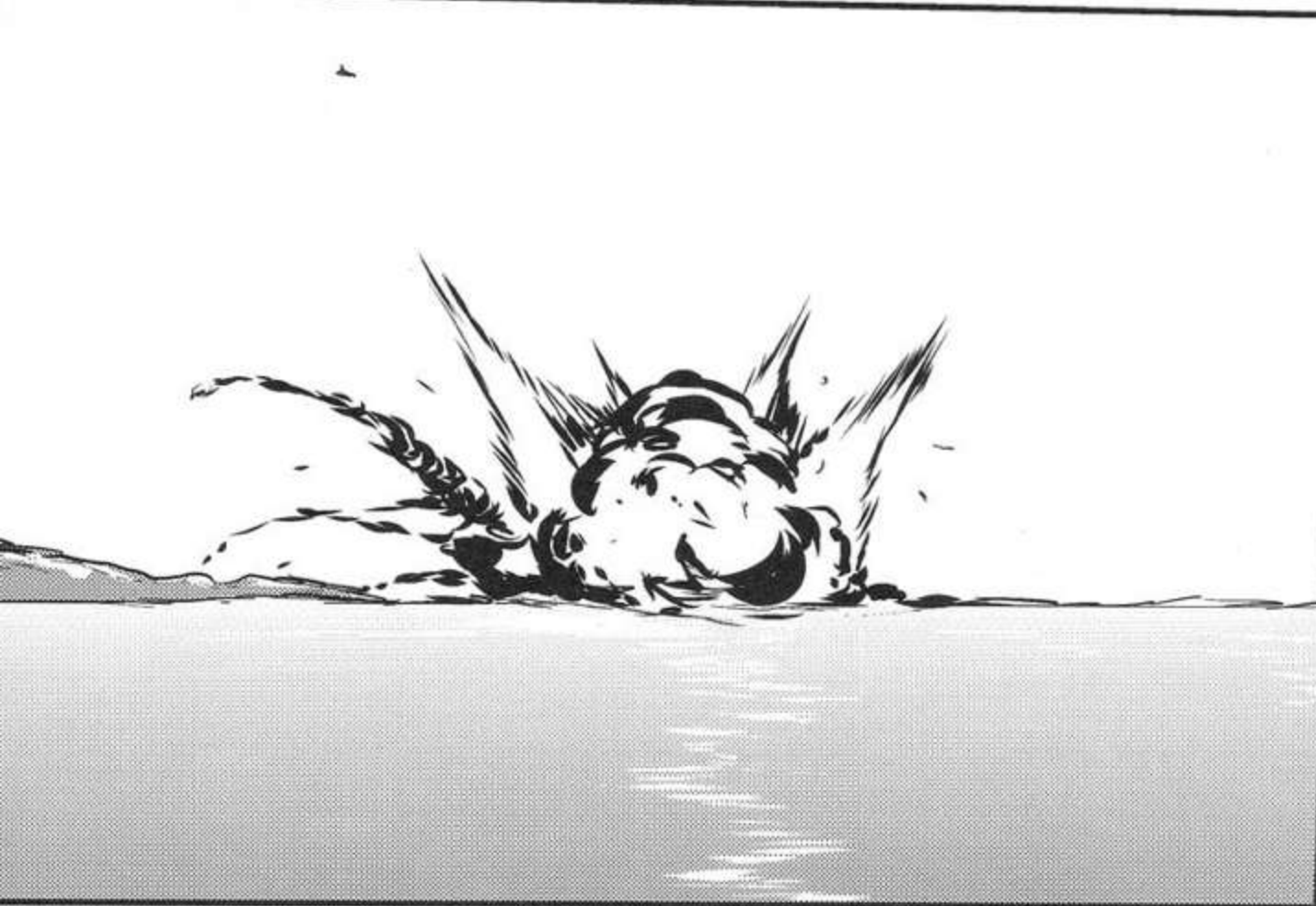
約束は

守つたぞ

私は
帝国海軍
第6駆逐隊

響





聯合艦隊最後の
駆逐艦
『響』沈没

響の沈没後 80年代まで海防艦『^{おき}隠岐』『14号』『118号』『198号』、砲艦『宇治』
90年代まで海防艦『四阪』が残っていた

テートクの決断 終

『テートクの決断』遂に完結しました!

どうも蛸壺屋です。

艦これシリーズ10冊目でやっと終戦です。
足掛け5年で実際の太平洋戦争より長くなってしまいましたが無量です。

思えば今まで戦記や映画の戦争ものに触れてきたものの、全体像がどうも掴みきれなかった太平洋戦争(特に海軍)ですが、艦これの登場で艦に顔が出来て一気に覚えやすくなりました。この覚えた顔で太平洋戦争を物語るとどんどん頭に入るんじゃないかと始めたシリーズでした。

最初は海戦を繋げていって三部作くらいで終わるんじゃないかと思いましたが、始めてから全くの見込み違いだったと判明しました。海軍の行動と陸軍や政治は密接に関わっているので海戦を理解するためには省けない情報が多いです。「自分が理解してないことは他人に説明できない」「ちゃんとした(情報の)本を描くのは難しい」ことを思い知りました。原稿を描いてる時間より情報とその裏取りをしてる時間の方が長かったように思います。とにかく太平洋戦争について、知ってるつもりで知らないことが多すぎることを気付かされた5年間でした。まだまだ知らないことは多いでしょうがテーブルがひっくり返るような驚きは無くなっていけば描いた甲斐があるというものです。

しかし、最近のNHK『ガダルカナル』番組で一木支隊の通信を潜水艦が中継するはずだったとはまた知らない重要な情報でガッカリしました。

情報収集に当たってはメールやピクシブやツイッターでも読者の方から多くの本をオススメ頂いて大変参考になりました。特にラビノヴィッチさんには的を射た定番の本を多く教えてもらい理解の幅が大きく広まりました。この場を借りてお礼申し上げます。またサークルメンバーの害君にはいつもながらミリタリー知識のお世話になってます。(害君の叔父方は岐阜38師団の229連隊で、あのガダルカナル島の佐野兵団だったようです。ちなみに水木しげるは同連隊のガ島戦後の補充兵)

あと、テートクの決断執筆中にネットで『戦史叢書』の無料公開が順次行われていたことに、去年気づきました。もっと早く気付いていれば!と残念に思いました。

漫画に関しては大和特攻で残った艦娘が軍艦マーチを歌うシーンはシリーズの最初から描きたいと思っていたシーンでした。迎り着けて嬉しいです。当初主人公雪風の最後で終わる構想でしたが響がいい感じに締めてくれたように思います。ただ、真の主人公は張り型だという話も。途中からエセックス級や艦娘の性格など公式から逸脱した部分も多いですが、最後までお付き合い下さった読者の皆さん、どうもありがとうございました!

ではまた次回お会いしましょう。
またアホな本を描くかも知れません。

作画や情報の間違い修正専用ページを作りました。
今回の本もいずれ間違いが見つかると思うので順次更新していきます。

『テートクの決断フォローページ』

<http://takotuboya.jp/teitoku/syuusei.html>

誌名 テートクの決断 艦娘の一番長い日(後編)
発行者 蛸壺屋
発行日 2019年12月31日
印刷所 太陽出版

ご意見ご感想は下記アドレスまで

URL : <http://takotuboya.jp>
E-Mail : tk@takotuboya.jp

登場艦娘

榛名 大和 長門 日向
伊勢 葛城 天城 龍鳳
鳳翔 青葉 利根 羽黒
足柄 五十鈴 北上 矢矧
酒匂 大淀 潮 霞
浜風 磯風 雪風 初霜
天津風 涼月 響 神風
伊58

THE END OF WAR

テートクの決断
艦娘の一番長い日 (後編)

TAKOTUBOYA
Adult Only

テートクの決断	昭和16年の敗戦 (1941. 7. 28~1941. 12. 8)
テートクの決断	MIDWAY (1941. 12. 8~1942. 6. 7)
テートクの決断	鉄底海峡 (1942. 6. 8~1943. 2. 7)
テートクの決断	ラバウル1943 (1943. 2. 8~1943. 8. 25)
テートクの決断	絶対国防圏 (1943. 8. 26~1943. 12. 14)
テートクの決断	あ号作戦への道 (1943. 12. 15~1944. 6. 23)
テートクの決断	レイテに散る (1944. 6. 24~1944. 10. 25)
テートクの決断	一億特攻 (1944. 10. 25~1945. 1. 21)
テートクの決断	艦娘の一番長い日・前編 (1945. 1. 22~1945. 3. 26)